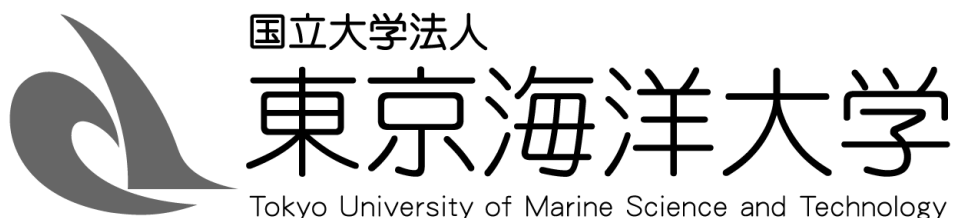


令和 5（2023）年度

入学者選抜要項



令和 4（2022）年 7 月

【インターネット出願の実施について】

学部入試は、インターネット出願となります。学生募集要項の冊子の配付はありませんので、詳細は本学ホームページ（TOP ページ→入試）でお知らせします。

【不測の事態が発生した場合の諸連絡】

災害等により不測の事態が発生した場合、本学入学者選抜に関する情報提供は大学ホームページより行いますので、出願及び受験の直前は特に注意してください。

本学ホームページ（TOP ページ→NEWS&TOPICS→入試情報）

【新型コロナウイルス感染症対策について】

今般の新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、入学者選抜の実施内容に変更が生じた場合には、本学ホームページ（TOP ページ→入試→重要なお知らせ）でお知らせします。

目次

大学の理念, 大学の人材養成と目標, アドミッション・ポリシー (入学者受入方針) 及び教育研究上の目的	1
各学部のアドミッション・ポリシー	2
各学科のアドミッション・ポリシー	6
I 入学者選抜の種類及び募集人員等	19
令和5(2023)年度入試における出願要件の英語資格について	23
II 一般選抜	25
(1) 出願資格	25
(2) 出願要件	25
(3) 選抜方法	26
(4) 出願期間・個別学力検査日・合格発表日	26
令和5(2023)年度東京海洋大学入学者選抜(一般選抜)における出題教科・科目等について	27
《海洋生命科学部 海洋生物資源学科・食品生産科学科》	27
《海洋生命科学部 海洋政策文化学科》	28
《海洋工学部 海事システム工学科・海洋電子機械工学科》	30
《海洋工学部 流通情報工学科》	31
《海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科》	33
III 総合型選抜	34
1 海洋生命科学部	34
(1) 総合型選抜A(一般)	34
(2) 総合型選抜B(専門学科・総合学科卒業生)	36
(3) 総合型選抜C-I型(帰国子女)	37
(4) 総合型選抜C-II型(留学経験者)	39
(5) 総合型選抜E(社会人)	41
2 海洋工学部	43
(1) 総合型選抜A(一般)	43
(2) 総合型選抜B(専門学科・総合学科卒業生)	44
(3) 総合型選抜C-I型(帰国生)	45
(4) 総合型選抜D(商船教員養成コース)	46
(5) 総合型選抜E(社会人)	47
3 海洋資源環境学部	48
(1) 総合型選抜C-I型(帰国子女)	48
(2) 総合型選抜C-II型(留学経験者)	49
(3) 総合型選抜E(社会人)	50
IV 学校推薦型選抜	51
1 海洋生命科学部	51
(1) 学校推薦型選抜A(一般)	51
(2) 学校推薦型選抜B(専門学科・総合学科卒業生)	54
学校推薦型選抜B(専門学科・総合学科卒業生)	55
2 海洋資源環境学部	56
(1) 学校推薦型選抜A(一般)	56
(2) 学校推薦型選抜B(専門学科・総合学科卒業生)	57
V 私費外国人留学生特別入試	58
1 海洋生命科学部	58
2 海洋工学部	59
3 海洋資源環境学部	60
VI 学生募集要項の発表・大学案内等の請求方法	61
VII 健康診断について	62
VIII 障害等のある入学志願者との事前相談について	63
IX 東京海洋大学のキャンパス案内	64
X 学生寮のお知らせ(令和4年度学部1年次入学者)	64

※やむを得ない事情により、この要項に記載されている内容が変更になる場合があります。最新の情報は、各選抜の学生募集要項並びに本学ホームページ (<https://www.kaiyodai.ac.jp/>) で必ず確認してください。

大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー (入学者受入方針) 及び教育研究上の目的

東京海洋大学は、大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的を次のように掲げています。

大学の理念

人類社会の持続的発展に資するため、海洋を巡る学問及び科学技術に係わる基礎的・応用的教育研究を行う。

大学の人材養成と目標

我が国が海洋立国として発展し、国際貢献の一翼を担っていくためには、国内唯一の海洋系大学である東京海洋大学が、「海を知り、守り、利用する」ための教育研究の中心拠点となって、その使命を果たす必要がある。このような基本的観点に立ち、本学は、研究者を含む高度専門職業人養成を核として、海洋に関する総合的教育研究を行い、次の能力・素養を有する人材を養成する。

- 一 海洋に対する科学的認識を深化させ、自然環境の望ましい活用方策を提示し、実践する能力
- 二 論理的思考能力、適切な判断力、社会に対する責任感をもって行動する能力
- 三 現代社会の大局化した諸課題について理解・認識し、対応できる実践的指導力
- 四 豊かな人間性、幅広い教養、深い専門的知識・技術による課題探求、問題解決能力
- 五 国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

東京海洋大学は、海洋分野において国際的に活躍する産官学のリーダーを輩出する世界最高水準の卓越した大学を目指しています。

海洋・海事・水産分野に興味のある次のような学生を求めています。

本学の教育を受けるうえで必要な資質と基礎学力を有し、旺盛な学習意欲があり、新しい課題に積極的に取り組もうとする人、常に視野を広め、主体的に考える姿勢を持った人、コミュニケーション能力を高め、異なる考え方や文化を尊重する人、グローバル社会での活躍を目指す人を多様な入試方法により国内外から広く受け入れます。

教育研究上の目的

海洋生命科学部においては、海洋を含めた水圏に生息する多様な生物の資源としての保全・利用やそれらに関するバイオテクノロジー、食料の利用・加工、海洋政策や文化に関心と興味を持ち、これらに係わる諸課題を追求し、解決するための行動力とグローバル化への対応力を身につけた高度専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に係わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

海洋工学部においては、海上輸送に関連する海、船の利用及び物流等に強い関心を持ち、工学的視点からこれらに係わる諸課題の理解と解決に必要な高度な技術と専門知識を含む幅広い教養、及び豊かな人間性を身につけた国際的にも活躍できる高度専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に係わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

海洋資源環境学部においては、海洋環境の保全と、海底を含めた海洋資源の開発と持続的利用に関心を持ち、これらに係わる諸課題をグローバルな観点から俯瞰し、解決するための高度な知識と技術を身につけ、応用力のある高度専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に係わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

各学部のアドミッション・ポリシー

海洋生命科学部

1. 受け入れる学生に求める関心、意欲

海洋生命科学部では、生命科学をはじめとする自然科学、人文・社会科学の深い理解を基盤に、人類社会の持続可能な発展に資するために、海洋を含む水圏に関するグローバルな諸課題に関心を持ち、世界をリードする研究を通して、海洋生物資源の利用、食品の生産・流通、人と海の共生などの分野に意欲的に取り組む学生を求めています。

2. 受け入れる学生に求める学修成果

(知識・技能)

(1)本学部の教育を受けるうえで必要な資質と英語力を含む基礎学力を有すること。

(思考力・判断力・表現力等の能力)

(2)旺盛な学習意欲があり、新しい課題に積極的に取り組めること。

(3)常に視野を広め、主体的に考える姿勢を持つこと。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

(4)コミュニケーション能力を高め、異なる考え方や文化を尊重できること。

(5)実用的に使える英語力を修得し、グローバル社会での活躍を目指すこと。

3. 入学者選抜での評価方法

本学部での教育を受けるうえで必要な資質と基礎学力を判定するために、大学入学共通テスト、個別学力検査、総合型選抜や学校推薦型選抜を行います。

4. 選抜方法と学修成果の評価 (◎=大きい比重, ○=小さい比重)

○総合型選抜

学科ごとに定めます。

○学校推薦型選抜

学科ごとに定めます。

○私費外国人留学生特別入試

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
個別学力検査	◎				○
面接	○	◎	◎	◎	◎
日本留学試験の成績	○			○	○
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○一般選抜 (前期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				◎
個別学力検査	◎				

○一般選抜 (後期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				◎
個別学力検査	◎	○	○	○	

海洋工学部

1. 受け入れる学生に求める関心、意欲

海洋工学部では、人類社会の持続的発展に資するため、海上輸送に関するグローバルな諸課題に関心を持ち、世界をリードする研究を通して、安全な運航、制御システム、省エネルギー技術、ロジスティクスなどについて、国際的な視野に立つ指導的エンジニアとして工学的視点から問題を解決しようとする意欲を持つ人を求めます。

2. 受け入れる学生に求める学修成果

(知識・技能)

(1)幅広い教養と入学後の学修に必要な英語、数学、理科などの基礎学力を持つこと。

(思考力・判断力・表現力等の能力)

(2)知識に基づいて論理的な思考および適切な判断ができること。

(3)国際的な視野、社会性、協調性と健全な倫理観を持って行動できること。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

(4)工学分野に関して知的好奇心が旺盛で、自ら進んで知識を吸収する学習意欲のあること。

3. 入学者選抜での評価方法

本学部での教育を受けるうえで必要な資質と基礎学力を判定するために、大学入学共通テスト、個別学力検査や総合型選抜、編入学入試を行います。

一般選抜では、大学入学共通テストおよび個別学力検査により、総合型選抜では、志望理由・自己推薦書、課題学習能力試験、小論文および面接等により、私費外国人留学生特別入試では、個別学力検査、日本留学試験および面接等により、編入学（推薦）では、小論文、面接および志望理由書等により、編入学（学力）では、学力試験および成績証明書により、いずれも総合的に評価・判定します。

4. 選抜方法と学修成果の評価（◎=大きい比重，○=小さい比重）

○総合型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)
課題学習能力試験	◎			
模擬授業、課題論文	◎			○
小論文	○	○		
面接	○	◎	◎	◎
調査書	○			
志望理由・自己推薦書		○	○	○

○私費外国人留学生特別入試

	(1)	(2)	(3)	(4)
個別学力検査	◎			
面接	○	◎	◎	◎
日本留学試験の成績	◎			
志望理由書		○	○	○
成績証明書	○			

○一般選抜（前期日程）

	(1)	(2)	(3)	(4)
大学入学共通テスト	◎			
個別学力検査	◎	○	○	

○一般選抜（後期日程）

	(1)	(2)	(3)	(4)
大学入学共通テスト	◎			
個別学力検査	◎	○		

海洋資源環境学部

1. 受け入れる学生に求める関心，意欲

海洋資源環境学部では，海洋環境・海洋生物・資源・エネルギーに関するグローバルな諸課題に関心を持ち，環境の保全，海洋や資源の持続的利用，エネルギーの効率的利用などへの取り組みに意欲を持つ学生を求めています。

2. 受け入れる学生に求める学修成果

（知識・技能）

(1)自然科学から工学の広範な教育を受けるに必要な資質と基礎学力

（思考力・判断力・表現力等の能力）

(2)海洋環境や海洋資源に関する広範な領域の学修意欲と，新しい課題への積極性

(3)様々な問題に取り組むための広い視野と，主体的な考え方

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

(4)多様な人々と協働するための意思疎通能力の基礎と，異なる考え方や文化を理解・尊重する精神

(5)グローバルに活躍するための基礎語学力と意欲

3. 入学者選抜での評価方法

本学部での教育を受けるうえで必要な資質と基礎学力を判定するために，大学入学共通テスト，個別学力検査，総合型選抜や学校推薦型選抜を行います。

4. 選抜方法と学修成果の評価（◎=大きい比重，○=小さい比重）

本学部を構成する海洋環境科学科と海洋資源エネルギー学科では，海洋の環境や資源の利用について広く学習するという共通要素を有することから，一般選抜（前期日程・後期日程）において2学科間の第2志望を認めます。

○総合型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
小論文	◎			◎	◎
面接	○	◎	◎	◎	◎
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○学校推薦型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
小論文	◎			◎	◎
面接	○	◎	◎	◎	◎
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○私費外国人留学生特別入試

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
個別学力検査	◎				○
面接	○	◎	◎	◎	◎

日本留学試験の成績	○			○	○
志望理由書		○	○	○	
成績証明書	○	○	○		

○一般選抜（前期日程）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				◎
個別学力検査	◎				

○一般選抜（後期日程）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				◎
個別学力検査	◎	○	○	○	

各学科のアドミッション・ポリシー

海洋生命科学部

《海洋生物資源学科》

1. 受け入れる学生に求める関心・意欲

海洋生物資源学科では、沿岸から沖合、深海に加え、河川や湖沼に生きる生物を対象として、生態系のなかでの多様性を保全しつつ、これら生物を持続的に利用していくための海洋生物学、生命科学、資源生物学について幅広く教育・研究しています。その内容は遺伝子、細胞、個体レベルから個体群、そして生態系レベルまでをカバーしています。水に生きる動植物を守り、育むための生理学、病理学、遺伝育種学、バイオテクノロジー、生態学、資源学を学び、これらを技術として応用することに興味のある学生を求めています。

2. 受け入れる学生に求める学修成果

(知識・技能)

(1)入学後の学修に必要な幅広い基礎学力を有している。

とりわけ数学と理科（物理、化学または生物）の基礎学力を有している（※）。

（※）数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B

物理については、物理基礎、物理

化学については、化学基礎、化学

生物については、生物基礎、生物

(思考力・判断力・表現力等の能力)

(2)旺盛な学習意欲があり、海洋生物やそれを取り巻く環境に関する様々な課題に積極的に取り組むこと。

(3)常に視野を広め、上記課題について主体的に考え、それを解決するために行動する姿勢を持つこと。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

(4)海洋生物資源学科における大学生活を通じてコミュニケーション能力を高めること。また、異なる考え方や文化を尊重できる人材となること。

(5)海洋生物資源学科で学んだことを礎に、グローバル社会での活躍を目指すこと。

3. 入学者選抜での評価方法

一般選抜（前期日程）では、高等学校等において、基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト（5教科7科目）及び個別学力検査（数学・理科）の総合点で判定します。

一般選抜（後期日程）では、高等学校等において、基礎学力とともに、考えを論理的に展開し、適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト（3教科4科目）及び個別学力検査（小論文）の総合点で判定します。

総合型選抜、学校推薦型選抜及び私費外国人留学生特別入試では、学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を重視して入学者を選抜します。

4. 選抜方法と学修成果の評価（◎=大きい比重，○=小さい比重）

○総合型選抜（A）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
小論文	◎			○	○
聴講論文	◎		◎	◎	
個人面接	○	◎	◎	◎	◎
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○総合型選抜（C，E）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
小論文	◎			◎	◎
面接	○	◎	◎	◎	◎
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○学校推薦型選抜（B）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
小論文	◎			○	○
口頭試問	◎	◎	◎	◎	◎
聴講論文	◎		◎	◎	
個人面接	○	◎	◎	◎	◎
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○私費外国人留学生特別入試

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
個別学力検査	◎				○
面接	○	◎	◎	◎	◎
日本留学試験の成績	○			○	○
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○一般選抜(前期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				◎
個別学力検査	◎				

○一般選抜(後期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				◎
個別学力検査	◎	○	○	○	

《食品生産科学科》

1. 受け入れる学生に求める関心・意欲

食品生産科学科では、安全で信頼性の高い食品を持続的に供給するため、食資源を化学、微生物学、物理学、工学的な手法を用いて余すことなく利用する技術開発を行い、食品の安全性の確保・向上と新しい機能をもつ食品の開発と評価について教育・研究しています。水産生物を食資源として有効利用すること、食品の原料から製造加工、流通、消費に至るまでを対象とした安全性の確保・向上、食品の新しい機能開発などに関心がある学生を求めています。

2. 受け入れる学生に求める学修成果

(知識・技能)

(1)入学後の学修に必要な幅広い基礎学力を有している。

とりわけ数学と理科（物理，化学または生物）の基礎学力を有している（※）。

（※）数学については、数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B

物理については、物理基礎、物理
 化学については、化学基礎、化学
 生物については、生物基礎、生物

(思考力・判断力・表現力等の能力)

- (2)旺盛な学習意欲があり、新しい課題に積極的に取り組むこと。
- (3)「食」に関する社会的な問題にも幅広く関心を示し、主体的に考える姿勢を持つこと。
(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
- (4)他人とのコミュニケーションに積極的であり、適切な自己表現ができること。
- (5)異なる考え方や文化を尊重し、グローバル社会での活躍を目指すこと。

3. 入学者選抜での評価方法

一般選抜（前期日程）では、高等学校等において、基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト（5教科7科目）及び個別学力検査（数学・理科）の総合点で判定します。

一般選抜（後期日程）では、高等学校等において、基礎学力とともに、考えを論理的に展開し、適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト（3教科4科目）及び個別学力検査（小論文）の総合点で判定します。

総合型選抜、学校推薦型選抜、私費外国人留学生特別入試及び編入学試験では、学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を重視して入学者を選抜します。

4. 選抜方法と学修成果の評価（◎=大きい比重，○=小さい比重）

○総合型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
小論文	◎		○	○	◎
面接	○	◎	◎	◎	◎
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○学校推薦型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
小論文	◎		○	○	◎
面接	○	◎	◎	◎	◎
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○私費外国人留学生特別入試

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
個別学力検査	◎				○
面接	○	◎	◎	◎	◎
日本留学試験の成績	○			○	○
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○一般選抜(前期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				◎
個別学力検査	◎	○	○		

○一般選抜(後期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				◎
個別学力検査	◎	○	○	○	

《海洋政策文化学科》

1. 受け入れる学生に求める関心・意欲

海洋政策文化学科では、政策的アプローチ、産業的アプローチ、文化的アプローチにより、理論と実践における考察力と実践力を練磨するために、「海・人・社会」の望ましい関係の在り方について幅広く教育・研究しています。本学科は、理系・文系の垣根をこえ、海洋政策、海と人との共生に対して積極的な関心を有し、また、法律、経済、人文学、海洋スポーツ、教育など、幅広い分野に興味のある学生を求めています。

2. 受け入れる学生に求める学修成果

(知識・技能)

(1)入学後の学修に必要な幅広い基礎学力を有している。

(思考力・判断力・表現力等の能力)

(2)論理的な思考力を有している。

(3)ものごとを多角的に検討できる判断力を有している。

(4)自らの考えを的確に伝える表現力を有している。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

(5)旺盛な学習意欲があり、新しい課題に積極的に取り組む姿勢を有している。

3. 入学者選抜での評価方法

一般選抜（前期日程）では、高等学校等において、基礎学力とともに、論理的思考にもとづいて適切に文章を読解・作成する能力を身に着けている人を選抜するために、大学入学共通テスト（5教科7科目または5教科8科目または6教科7科目または6教科8科目）及び個別学力検査（数学または理科の1科目選択、及び小論文）の総合点で判定します。

一般選抜（後期日程）では、高等学校等において、基礎学力とともに、論理的思考にもとづいて適切に文章を読解・作成する能力を身に着けている人を選抜するために、大学入学共通テスト（3教科3科目）及び個別学力検査（小論文）の総合点で判定します。

総合型選抜、学校推薦型選抜及び私費外国人留学生特別入試では、学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を重視して入学者を選抜します。

4. 選抜方法と学修成果の評価（◎=大きい比重，○=小さい比重）

○総合型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
小論文	○	◎	◎	◎	
口頭試問（総合型選抜Bのみ）	◎	○	○	○	◎
聴講論文	○	◎	◎	◎	
個人面接		○	○	◎	◎
志望理由書		○		◎	◎
調査書	◎				

○学校推薦型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎	○			
調査書	○	○	○		○

志望理由書		○	◎	◎	◎
資格・業績書	◎				◎

○私費外国人留学生特別入試

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
個別学力検査	◎	○	○	○	
面接				○	◎
日本留学試験の成績	◎			○	
志望理由書				○	◎
成績証明書	◎				

○一般選抜(前期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				
個別学力検査	○	◎	◎	◎	
資格・業績書	◎				◎

○一般選抜(後期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				
個別学力検査	○	◎	◎	◎	
資格・業績書	◎				◎

《水産教員養成課程》

この課程は全国の水産・海洋系高等学校（水産高校）の教員を計画的に養成するためのコースであり、卒業要件を満たすことで、水産の教育職員免許状（教職免許状）を取得することができます。

定員は7名で、その内訳は、海洋生物資源学科に3名、食品生産科学科に3名、海洋政策文化学科に1名となっています。

水産教員養成課程に志願した場合は、はじめに水産教員養成課程の志願者として選考を行い、合格者を決定します。この時点で不合格となった場合にも、あらためて一般の志願者と同等の基準で選考を行います。

この課程の学生は、水産の教職免許状の取得に必要な科目の単位を修得することが義務付けられます。このため、「教職に関する専門科目」と所属学科の指定する「教科に関する専門科目」を履修することになりますが、「教職に関する専門科目」の単位の多くが卒業に必要な総単位数に含まれていますので、水産の教職免許状は取得しやすいようになっています。

具体的には、この課程の学生が卒業するために必要な単位数は、この課程以外の学生が卒業するために必要な124単位より9単位多いだけとなっています（この課程以外の学生が水産の教職免許状を取得しようとする場合には、卒業に必要な124単位のほかに「教職に関する専門科目」等の23単位を加えた147単位を最低限取得する必要があります。）。例年、全国の水産高校から求人の問い合わせが寄せられることから、水産高校の教員を進路の選択肢の一つとして考える学生にとって、非常に魅力的な課程となっています。

なお、本課程では、水産の教職免許状取得を目的としていますが、卒業後の進路が水産教員に限定されるわけではありません。卒業後は、本学の大学院や海洋科学専攻科への進学、一般企業や公務員への就職など、この課程以外の学生と進路選択は全く変わることはありません。

海洋生命科学部では、TOEIC L&R スコア 600 点取得を学部 4 年次への進級要件としています。

その支援のため、TOEIC 学習専門の英語教員の配置、スコア別・技能別 TOEIC クラスの設置、語学学習用の個人ブースや防音個室ブースを完備した学習スペース「グローバルコモン」の設置、英語学習アドバイザーによる学習支援など、入学後も英語学習を強くバックアップする体制を整備しています。

海洋工学部

《海事システム工学科》

1. 受け入れる学生に求める関心・意欲

海事システム工学科では、海運をはじめ様々な産業分野で、船舶運航技術および工学的技術を通じて活躍できる人材を養成します。このため、船舶運航に必須な多国籍の運航チームを形成できる協調性と健全な倫理観を持って自ら行動できる人、船舶・自然環境・工学的技術への関心が高く、意欲的な学生を求めています。

2. 受け入れる学生に求める学修成果

(知識・技能)

(1)入学後の学修に必要な幅広い基礎学力を有している。

(2)とりわけ数学，理科（物理）および英語の基礎学力を有している（※）。

（※）数学については，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（前期日程）

英語については，コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ，英語表現Ⅱ（前期日程，後期日程）

物理については，物理基礎，物理（後期日程）

(思考力・判断力・表現力等の能力)

(3)論理的思考力と健全な判断力を持ち，自らの意見をわかりやすく伝えることのできる素養を有している。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

(4)リーダーとしてグローバルに活躍できるような主体性を持ち，多種多様な人間関係の中でも，他者と協力し，困難な課題に挑戦できる素養を有している。

3. 入学者選抜での評価方法

広い教養を身につけているかを大学入学共通テストで，国際的な視野を持っているかを個別試験で課す英語で判断します。更に，前期日程では数学を，後期日程では物理を課して海事システムを理解できる基礎学力を備えているかを判断して入学者を決定します。

総合型選抜では，学科の学問領域への関心，学ぶ意欲，学ぶための必要な学力等を重視して入学者を決定します。私費外国人留学生特別入試では，学ぶ意欲，学ぶための必要な学力等を重視して入学者を決定します。

4. 選抜方法と学修成果の評価（◎=大きい比重，○=小さい比重）

○総合型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)
課題学習能力試験		◎		
模擬授業，課題論文	○		◎	
面接			◎	○
調査書	◎	○		
志望理由・自己推薦書				◎

○私費外国人留学生特別入試

	(1)	(2)	(3)	(4)
個別学力検査		◎		
面接			◎	
日本留学試験の成績	◎			
志望理由書				◎
成績証明書	◎	○		

○一般選抜(前期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)
大学入学共通テスト	◎			
個別学力検査		◎		

○一般選抜(後期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)
大学入学共通テスト	◎			
個別学力検査		◎		

《海洋電子機械工学科》

1. 受け入れる学生に求める関心・意欲

海洋電子機械工学科では、機械工学、電気・電子工学、制御工学など専門領域の教育および大型練習船による乗船実習を通じて、エネルギー問題、海洋環境問題などのグローバルな課題を解決する能力を持ち、船舶機関・海洋関連機器などの大型プラントの運用・保守管理やエネルギーシステム、海洋ロボット、電子制御機器、材料などの研究開発・設計・製造の先端技術分野で幅広く活躍できる人材の養成を行っています。そのため、これらに強い関心があり、自ら積極的に取り組む意欲を持ち、かつ、語学力や幅広い教養、社会性、協調性、行動力を有する人材を求めています。

2. 受け入れる学生に求める学修成果

(知識・技能)

(1)入学後の学修に必要な幅広い教養、基礎学力を持つ人

(2)とりわけ数学、理科(物理)および英語の基礎学力を持つ人(※)

(※) 数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(前期日程)

物理については、物理基礎、物理(後期日程)

英語については、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ(前期日程、後期日程)

(思考力・判断力・表現力等の能力)

(3)自然現象や科学技術への関心が高く、新しい課題に対して積極的に取り組む意欲を持つ人

(4)知識・教養に基づいて論理的に思考し判断できる人、また自分の考えや判断を相手に伝える表現力を持つ人

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

(5)国際的な視野、社会性、協調性と健全な倫理観を持ち、自主的に行動できる人

3. 入学者選抜での評価方法

一般選抜(前期日程)では数学および英語の、一般選抜(後期日程)では物理および英語の個別学力検査を課し、加えて大学入学共通テストの成績により語学および教養の基礎学力について評価・判定します。

総合型選抜では課題学習能力試験と模擬授業、課題論文により、数学・語学および教養の基礎学力を判定し、面接により社会性、協調性、行動力、本学科の専門領域に対する学習意欲および思考力、表現力を判断します。

私費外国人留学生特別入試では、数学と英語の個別学力検査と日本留学試験を課すことにより大学教育を行う上で必要となる基礎学力を判定し、面接により社会性、協調性、行動力、本学科の専門領域に対する学習意欲および思考力、表現力を判断します。

4. 選抜方法と学修成果の評価 (◎=大きい比重, ○=小さい比重)

○総合型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
課題学習能力試験	○	◎			
模擬授業, 課題論文	○	○	○	○	
面接	○	○	◎	◎	○
調査書	◎	◎			
志望理由・自己推薦書	○		◎	◎	○

○私費外国人留学生特別入試

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
個別学力検査	○	◎		○	
面接	○	○	◎	◎	○
日本留学試験の成績	○			○	
志望理由書	○		◎	◎	○
成績証明書	◎	◎			

○一般選抜(前期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎	◎		○	
個別学力検査	○	◎			

○一般選抜(後期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎	◎		○	
個別学力検査	○	◎			

《流通情報工学科》

1. 受け入れる学生に求める関心・意欲

わが国の衣食住を支える物流と、それを高度に機能させる情報システム、環境対策も含めたグローバルな経済活動について強い関心を持ち、それらを探求することによって社会に貢献することに意欲のある学生を求めています。

2. 受け入れる学生に求める学修成果

(知識・技能)

(1)入学後の学修に必要な幅広い基礎学力を有している。

(2)とりわけ数学と英語の基礎学力を有している (※)。

(※) 数学については、数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B (前期日程)

英語については、コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ (前期日程, 後期日程)

(思考力・判断力・表現力等の能力)

(3)自ら課題を発見して探究し、成果などを表現するのに必要な論理的思考力・判断力・表現力を持っている。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

(4)物流・情報システム・経済活動に関心を持ち、主体的に学ぶ意欲がある。

(5)幅広い教養と国際的な視野を持ち、自立的に考えながらも、他人と協働してものごとを実行することができる。リーダーシップを発揮することができる。

3. 入学者選抜での評価方法

一般選抜では、大学入学共通テストで幅広い教養の習得レベルを判定し、個別試験に英語を課すことで国際的な活躍の能力を検証します。さらに前期日程では数学も課し、数理的な理解の素地について判定します。

総合型選抜では課題学習能力試験と小論文を課し、面接を行い、学修成果について総合的に判定します。

私費外国人留学生特別入試では、日本留学試験と個別試験で英語と数学を課すとともに、面接を行い、日本語能力とともに学修成果について総合的に判定します。

4. 選抜方法と学修成果の評価 (◎=大きい比重, ○=小さい比重)

○総合型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
課題学習能力試験		◎			
小論文			◎	○	
面接			◎	◎	○
調査書	◎		○		○
志望理由・自己推薦書			◎	◎	○

○私費外国人留学生特別入試

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
個別学力検査		◎			
面接			◎	◎	○
日本留学試験の成績	◎				
志望理由書			◎	◎	○
成績証明書	◎				

○一般選抜(前期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				
個別学力検査		◎			

○一般選抜(後期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				
個別学力検査		◎			

海洋工学部では、言語能力を評価する国際指標である CEFR を採用し、CEFR B1 レベル以上の英語スコア取得を学部 4 年次への進級要件としています。

その支援のため、CEFR B1 取得を目指す GLI 演習の導入、TOEIC 演習に特化した英語クラスの設置、海洋工学部が独自に開発した英語学習用 e ラーニング教材の提供、図書館（越中島キャンパス）に語学学習用の個人ブースや各種問題集・参考書の設置、英語学習アドバイザーによる学習支援など、入学後の英語学習を強くバックアップする体制を整備しています。

海洋工学部の海事システム工学科と海洋電子機械工学科には、船舶運航に関する実習があります。

海洋資源環境学部
《海洋環境科学科》

1. 受け入れる学生に求める関心・意欲

海洋における諸現象を観測・解析・予測する海洋学及び海洋生物と環境との相互作用を解析する海洋生物学を基礎として、これを海洋環境保全・修復の科学・技術へと発展させる海洋環境科学を教育・研究します。洋上での海洋、海底の観測・探査、多様な海洋生物（微生物、藻類、浮遊生物、無脊椎動物、魚類、鯨類など）の種同定・現存量推定・生活史調査・生息環境測定、海洋生物の行動や生態の生物学や生化学、海洋生物の保全と有用物質利用のためのバイオテクノロジー、海洋の諸現象や人間活動の影響のモデル化と予測、海洋環境の保全・修復の計画立案実行等に興味がある学生を求めています。

2. 受け入れる学生に求める学修成果

(知識・技能)

(1)自然科学の広範な教育を受けるに必要な資質と基礎学力、とりわけ数学と理科（少なくとも物理、化学または生物のうちいずれか1科目）の基礎学力（※）

(※) 数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B

物理については、物理基礎、物理

化学については、化学基礎、化学

生物については、生物基礎、生物

(思考力・判断力・表現力等の能力)

(2)海洋資源も含む海洋環境に関する広範な領域の学修意欲と、新しい課題に取り組む積極性

(3)海洋資源も含む海洋環境に関わる様々な問題に取り組むための広い視野と、主体的な思考力

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

(4)海洋観測や海洋利用などに関わる多様な人々と協働するための意思疎通能力の基礎と、異なる考え方や文化を理解・尊重する姿勢

(5)グローバルに活躍するための基礎的語学力と意欲

3. 入学者選抜での評価方法

一般選抜（前期日程）では、基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト（5教科7科目）及び個別学力検査（数学・理科）の総合点で判定します。

一般選抜（後期日程）では、基礎学力とともに、考えを論理的に展開し適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト（3教科4科目）及び個別学力検査（小論文）の総合点で判定します。

総合型選抜、学校推薦型選抜及び私費外国人留学生特別入試では、学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を重視して入学者を選抜します。

4. 選抜方法と学修成果の評価（◎=大きい比重，○=小さい比重）

○総合型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
小論文	◎			◎	◎
面接	○	◎	◎	◎	◎
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○学校推薦型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
小論文	◎			◎	◎
面接	○	◎	◎	◎	◎
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○私費外国人留学生特別入試

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
個別学力検査	◎				○
面接	○	◎	◎	◎	◎
日本留学試験の成績	○			○	○
志望理由書		○	○	○	
成績証明書	○	○	○		

○一般選抜(前期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				◎
個別学力検査	◎				

○一般選抜(後期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				◎
個別学力検査	◎	○	○	○	

《海洋資源エネルギー学科》

1. 受け入れる学生に求める関心・意欲

大気、海洋、海底に関する科学（環境科学の一部も含む）を基礎として、海洋環境を保全しながら資源や再生可能エネルギーを利用するための基礎工学及び海洋開発に関連する実践的な科学・技術を教育・研究します。海洋・海底（エネルギー資源を含む）の探査や開発ならびにその環境影響、海洋自然エネルギー利用に関連する大気・海水流動の解析技術、エネルギー変換、海洋・生物生態調査、海上・海中・海底における諸活動を支える計測機器、移動体、構造物に関する運用・制御等に興味がある学生を求めています。

2. 受け入れる学生に求める学修成果

（知識・技能）

(1)自然科学から工学の広範な教育を受けるに必要な資質と基礎学力、とりわけ数学と理科（少なくとも物理、化学または生物のうちの1科目）の基礎学力（※）

（※）数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B

物理については、物理基礎、物理

化学については、化学基礎、化学

生物については、生物基礎、生物

（思考力・判断力・表現力等の能力）

(2)海洋環境も含む海洋資源に関する広範な領域の学修意欲と、新しい課題に取り組む積極性

(3)海洋環境も含む海洋資源に関わる様々な問題に取り組むための広い視野と、主体的な思考力

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

(4)資源探査や海洋利用などに関わる多様な人々と協働するための意思疎通能力の基礎と、異なる考え方や文化を理解・尊重する姿勢

(5)グローバルに活躍するための基礎的語学力と意欲

3. 入学者選抜での評価方法

一般選抜（前期日程）では、基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト（5教科7科目）及び個別学力検査（数学・理科）の総合点で判定します。

一般選抜（後期日程）では、基礎学力とともに、考えを論理的に展開し適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト（3教科4科目）及び個別学力検査（小論文）の総合点で判

定めます。

総合型選抜、学校推薦型選抜及び私費外国人留学生特別入試では、学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を重視して入学者を選抜します。

4. 選抜方法と学修成果の評価 (◎=大きい比重, ○=小さい比重)

○総合型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
小論文	◎			◎	◎
面接	○	◎	◎	◎	◎
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○学校推薦型選抜

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
小論文	◎			◎	◎
面接	○	◎	◎	◎	◎
志望理由書		○	○	○	
調査書	○	○	○		

○私費外国人留学生特別入試

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
個別学力検査	◎				○
面接	○	◎	◎	◎	◎
日本留学試験の成績	○			○	○
志望理由書		○	○	○	
成績証明書	○	○	○		

○一般選抜(前期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				◎
個別学力検査	◎				

○一般選抜(後期日程)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
大学入学共通テスト	◎				◎
個別学力検査	◎	○	○	○	

海洋資源環境学部では、TOEIC L&R スコア 600 点取得を学部 4 年次への進級要件としています。

その支援のため、TOEIC 学習専門の英語教員の配置、スコア別・技能別 TOEIC クラスの設置、語学学習用の個人ブースや防音個室ブースを完備した学習スペース「グローバルコモン」の設置、英語学習アドバイザーによる学習支援など、入学後も英語学習を強くバックアップする体制を整備しています。

I 入学者選抜の種類及び募集人員等

令和5年度入学者選抜については、一般選抜は分離分割方式（前期日程，後期日程）で行います。

また，総合型選抜は，海洋生命科学部，海洋工学部，海洋資源環境学部で行います。学校推薦型選抜は，海洋生命科学部，海洋資源環境学部で行います。私費外国人留学生特別入試は，全学部で行います。各入学者選抜の募集人員は以下のとおりです。

学部	学科	入学定員	募集人員										私費外国人留学生
			一般選抜		総合型選抜						学校推薦型選抜		
			前期日程	後期日程	A（一般）	B（専門学科・総合学科卒業生）	C・I型（帰国生・帰国子女）	C・II型（留学経験者）	D（商船教員養成コース）	E（社会人）	A（一般）	B（専門学科・総合学科卒業生）	
海洋生命科学部	海洋生物資源学科 〈水産教員養成課程〉	68	42	18	8	—	若干名	若干名	—	若干名	—	若干名	若干名
		③	③	—	若干名	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名
	食品生産科学科 〈水産教員養成課程〉	55	30	14	—	—	若干名	若干名	—	若干名	10	1	若干名
		③	②	—	—	—	—	—	—	—	—	①	若干名
海洋生命科学部	海洋政策文化学科 〈水産教員養成課程〉	40	21	12	5	若干名	若干名	若干名	—	若干名	2	—	若干名
		①	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	若干名
	小計	170 (163+⑦)	93⑥	44	13	若干名	若干名	若干名	—	若干名	12	1①	若干名
海洋工学部	海事システム工学科	59	36	14	7	2	若干名	—	—	若干名	—	—	若干名
	海洋電子機械工学科	59	34	14	6	3	若干名	—	2	若干名	—	—	若干名
	流通情報工学科	42	20	14	7	1	若干名	—	—	若干名	—	—	若干名
	小計	160	90	42	20	6	若干名	—	2	若干名	—	—	若干名
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	62	37※	14※	—	—	若干名	若干名	—	若干名	11	若干名	若干名
	海洋資源エネルギー学科	43	27※	11※	—	—	若干名	若干名	—	若干名	5	若干名	若干名
	小計	105	64	25	—	—	若干名	若干名	—	若干名	16	若干名	若干名
	合計	435 (428+⑦)	247⑥	111	33	6	若干名	若干名	2	若干名	28	1①	若干名

※海洋生命科学部及び海洋工学部の一般選抜は，第1志望学科のみ志願することができます。海洋資源環境学部の一般選抜は，前期日程・後期日程とも海洋資源環境学部の2学科間で，第2志望を認めます。

- (注1) 総合型選抜Aは一般，総合型選抜Bは専門学科・総合学科卒業生，総合型選抜Eは社会人をそれぞれ対象とした選抜です。
- (注2) 総合型選抜C－Iは帰国生・帰国子女を対象とした選抜です。
- (注3) 総合型選抜C－IIは日本の高等学校在籍中に1年（School Year）以上の海外留学経験を有する者を対象とした選抜です。
- (注4) 総合型選抜D（商船教員養成コース）は水産・海洋系高等学校，または水産・海洋系の学科あるいはコースを持つ高等学校の教員を養成するコースです。
- (注5) 学校推薦型選抜Aは公募制の選抜です。学校推薦型選抜Bは専門学科・総合学科卒業生（水産・海洋系）を対象とした公募制の選抜です。
- (注6) 海洋生命科学部の入学定員小計170人には，水産教員養成課程の7人を含みます。○印の数は，水産教員養成課程の募集人員で外数です。○印のつかない一般と区別します。
- (注7) 海洋生命科学部海洋生物資源学科の前期日程の水産教員養成課程の募集人員には，総合型選抜A，学校推薦型選抜Bの水産教員養成課程の募集人員を含みます。
- (注8) 海洋生命科学部の前期日程の募集人員には，総合型選抜B，総合型選抜C－I，総合型選抜C－II，総合型選抜E，学校推薦型選抜B（海洋生物資源学科）の募集人員を含みます。
- (注9) 海洋生命科学部の総合型選抜A，学校推薦型選抜A，学校推薦型選抜B（食品生産科学科）の合格者が募集人員に満たない場合は，その数を一般選抜前期日程の募集人員に加えて募集します。
- (注10) 海洋工学部の前期日程の募集人員には，総合型選抜C－I，総合型選抜Eの募集人員を含みます。
- (注11) 海洋工学部の総合型選抜A，総合型選抜B，総合型選抜Dの合格者が募集人員に満たない場合は，その数を一般選抜前期日程の募集人員に加えて募集します。
- (注12) 海洋資源環境学部の前期日程の募集人員には，総合型選抜C－I，総合型選抜C－II，総合型選抜E，学校推薦型選抜Bの募集人員を含みます。
- (注13) 海洋資源環境学部の学校推薦型選抜Aの合格者が募集人員に満たない場合は，その数を一般選抜前期日程の募集人員に加えて募集します。

令和5年度東京海洋大学入学者選抜方法等

(一般選抜)

学部・日程・学科名			個別学力検査等							個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)	
			個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜				
				実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語においてリスニングテストを課する	第1段階の選抜 による合格者数				
								定員に対する倍率	その他			
海洋生命科学部	前期日程	海洋生物資源学科	○	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格	
		食品生産科学科	○	×	×	×	×	×	×			3月12日
		海洋政策文化学科	○	×	×	○	×	×	×			
	後期日程	海洋生物資源学科	×	×	×	○	×	×	×	3月12日		
		食品生産科学科	×	×	×	○	×	×	×			
		海洋政策文化学科	×	×	×	○	×	×	×			
海洋工学部	前期日程	海事システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	2月25日		
		海洋電子機械工学科	○	×	×	×	×	×	×			
		流通情報工学科	○	×	×	×	×	×	×			
	後期日程	海事システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	3月12日		
		海洋電子機械工学科	○	×	×	×	×	×	×			
		流通情報工学科	○	×	×	×	×	×	×			
海洋資源環境学部	前期日程	海洋環境科学科	○	×	×	×	×	×	×	2月25日		
		海洋資源エネルギー学 科	○	×	×	×	×	×	×			
	後期日程	海洋環境科学科	×	×	×	○	×	×	×	3月12日		
		海洋資源エネルギー学 科	×	×	×	○	×	×	×			

(注) 追加合格によってもなお欠員が生じた場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

※海洋資源環境学部の一般選抜は、前期日程・後期日程とも海洋資源環境学部の2学科間で、第2志望を認めます。
海洋資源環境学部の全受験者を合計得点順に並べ、その上位者から出願時の志望に応じて順次、合格者を決定します。

令和5年度東京海洋大学入学者選抜方法等

(総合型選抜・学校推薦型選抜)

選抜方法等 学部・学科名		総合型選抜					学校推薦型選抜						
		(A) 一般	(B) 専門学科・総合学科卒業生	(C-I・II) 帰国生・帰国子女・留学経験者	(D) 商船教員養成コース	(E) 社会人	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し、調査書を主な資料として判定する						
							個別学力検査を免除し、大学入学共通テストを課する	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除する	実技検査等				
									実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語においてリスニングテストを課する	その他
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	○	—	○	—	○	×	○	×	○	○	×	○
	食品生産科学科	—	—	○	—	○	×	○	×	○	○	×	×
	海洋政策文化学科	○	○	○	—	○	○	×	×	×	×	×	×
海洋工学部	海事システム工学科	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—
	海洋電子機械工学科	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
	流通情報工学科	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	—	—	○	—	○	×	○	×	○	○	×	×
	海洋資源エネルギー学科	—	—	○	—	○	×	○	×	○	○	×	×

令和5（2023）年度入試における出願要件の英語資格について

各学部が出願要件として指定する英語資格・検定試験のスコアは以下のとおりです。

（海洋生命科学部，海洋資源環境学部）

一般選抜，総合型選抜，学校推薦型選抜及び私費外国人留学生特別入試

次に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者

- ①TOEIC L&R (TOEIC-IP を含む) 400 点以上
- ②TOEFL (iBT) 40 点以上 (My Best Score を含む)，または TOEFL-ITP (Level 1 に限る) 435 点以上
- ③IELTS バンド 3.5 以上
- ④GTEC (3 技能)，または GTEC for STUDENTS 500 点以上※オフィシャルスコア以外も可。ただし，2019 年 3 月 31 日までの受検に限る。
- ⑤GTEC (4 技能) 840 点以上※オフィシャルスコアに限る。
- ⑥GTEC CBT 720 点以上※2017 年 3 月 31 日までの受検に限る。2017 年 4 月 1 日以降の GTEC (CBT タイプ) は，GTEC (4 技能) として扱う。
- ⑦英検準 2 級以上
- ⑧TEAP (4 技能) 160 点以上
- ⑨TEAP CBT (4 技能) 280 点以上
- ⑩ケンブリッジ英語検定 120 点以上

ただし，次に掲げる学部・学科の入試区分における英語資格については，以下のとおりとする。

海洋生命科学部海洋政策文化学科 総合型選抜-B (専門学科・総合学科卒業生)

海洋生命科学部食品生産科学科 学校推薦型選抜-B (専門学科・総合学科卒業生)

海洋資源環境学部 (全学科) 学校推薦型選抜-B (専門学科・総合学科卒業生)

次に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者

- ①TOEIC L&R (TOEIC-IP を含む) 365 点以上
- ②TOEFL (iBT) 38 点以上 (My Best Score を含む)，または TOEFL-ITP (Level 1 に限る) 423 点以上
- ③IELTS バンド 3.0 以上
- ④GTEC (3 技能)，または GTEC for STUDENTS 450 点以上※オフィシャルスコア以外も可。ただし，2019 年 3 月 31 日までの受検に限る。
- ⑤GTEC (4 技能) 750 点以上※オフィシャルスコアに限る。
- ⑥GTEC CBT 620 点以上※2017 年 3 月 31 日までの受検に限る。2017 年 4 月 1 日以降の GTEC (CBT タイプ) は，GTEC (4 技能) として扱う。
- ⑦英検 3 級以上
- ⑧TEAP (4 技能) 135 点以上
- ⑨TEAP CBT (4 技能) 235 点以上
- ⑩ケンブリッジ英語検定 100 点以上

(海洋工学部)

一般選抜, 総合型選抜, 私費外国人留学生特別入試

次に掲げるいずれかの英語資格・検定試験の成績が「CEFR A1 以上」の基準を満たしている者とする。
「CEFR」については、以下の「英語資格・検定試験と CEFR との対照表」を参照してください。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定（英検）〈従来型・新方式〔CBT, S-CBT, S-Interview〕〉
- ・GTEC（4 技能）※オフィシャルスコアに限ります。
- ・IELTS
- ・TEAP（4 技能）
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT テスト
- ・TOEIC L&R, TOEIC S&W ※TOEIC L&R と TOEIC S&W は両方受検が必要です。

出願時に成績を証明する書類を提出していただきます。英語資格・検定試験の受検時期は問いませんが、英語資格・検定試験実施団体が成績を証明する書類の有効期限を定めている場合は、その期限までとします。（出願最終日が有効期限内に含まれていること。）

なお、成績を証明する書類を提出できない場合は、理由書（本学様式）を提出いただき出願資格の有無について判断します。

英語資格・検定試験と CEFR との対照表

2019 年 11 月現在

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定(英検) 〈従来型・新方式〔CBT, S-CBT, S-Interview〕〉	GTEC (4 技能)	IELTS	TEAP (4 技能)	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R ・ TOEIC S&W
C2	230 200			9.0 8.5				
C1	199 180	3299 2600	1400 1350	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160	2599 2300	1349 1190	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140	2299 1950	1189 960	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120	1949 1700	959 690		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100	1699 1400	689 270		134 101	230 130		620 320

※この対照表は、「各資格・検定試験と CEFR との対照表（文部科学省平成 30 年 3 月作成）」に、試験実施団体からの情報を基に作成したものです。

※ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及び GTEC は複数の試験から構成されており、それぞれの試験が CEFR との対照関係として測定できる能力の範囲が定められています。当該範囲を下回った場合には CEFR の判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられている CEFR の判定が行われます。

※TOEIC は L&R, S&W 両方受検を必要とし、TOEIC L&R, TOEIC S&W については、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算したスコアで判定します。

Ⅱ 一般選抜

(1) 出願資格

一般選抜に出願できる者は、2023年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目（次の(3)選抜方法を参照）を受験した者で、かつ、次の各号のいずれか一つに該当する者とする。

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2023年3月までに卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者^(注1)

(注1) 上記③に該当する者は次のとおりである。（詳細については、本学入試課まで問い合わせること。）

- 1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
- 2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者
- 3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成17年文部科学省告示第137号）及び2023年3月31日までに修了見込みの者
- 4) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- 5) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（従前の大学入学資格検定の合格者を含む。）及び2023年3月31日までに合格見込みの者で、2023年3月31日までに18歳に達するもの
- 6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月31日までに18歳に達するもの^(注2)

(注2) 上記6)に該当する者で、入学資格認定を必要とする者は、個別の入学資格審査が必要です。

大学入学共通テスト出願の際、本学を志望する者や、他大学の入学資格審査を受けた者で、その後本学に志望変更した者については、それぞれ以下の申請期限までに申請してください。

申請要件、申請書類等の詳細については、本学ホームページにて確認してください。

(<https://www.kaiyodai.ac.jp/university/examination/qualification.html>)

ア. 大学入学共通テスト出願の際、本学を志望する者 2022年8月12日（金）[必着]

イ. 大学入学共通テスト出願の際、他大学の入学資格審査を受けた者で、その後本学に志望変更した者 2023年1月13日（金）[必着]

ウ. 大学入学共通テスト追試験受験者のみ対象 2023年1月18日（水）17時までに申し出ること（(注) 大学入学共通テスト追試験許可書を提示すること）

(2) 出願要件

海洋生命科学部、海洋工学部、海洋資源環境学部に入學を志願することのできる者は、各学部が指定するいずれかの英語資格等を保持している者とする。（23～24 ページを参照）

(3) 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、個別学力検査の成績、調査書の内容の結果を総合して行います。

前期日程・後期日程	
① 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等	27～33 ページを参照。
② 個別学力検査の教科・科目等	
③ 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等	

(4) 出願期間・個別学力検査日・合格発表日

	出願期間	個別学力検査日	合格発表日
前期日程	2023年1月23日(月)～	2023年2月25日(土)	2023年3月7日(火)
後期日程	2月3日(金)	2023年3月12日(日)	2023年3月23日(木)

令和5（2023）年度東京海洋大学入学者選抜（一般選抜）における出題教科・科目等について

《海洋生命科学部 海洋生物資源学科・食品生産科学科》

学部・学科		日程	共通テスト		個別学力検査		配点								
			教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	合計
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	前期日程	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 数Ⅰ・数A (必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】	数 理	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物から1	共通テスト	100	※50	※50	150	150	150		600
							個別学力検査				150	150			300
		計	100	※50	※50	300	300	150		900					
		後期日程	数 理 外	数Ⅰ・数A (必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科4科目】	その他	小論文	共通テスト				200	200	200		600
	個別学力検査											300	300		
	計				200	200	200	300	900						
	食品生産科学科	前期日程	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 数Ⅰ・数A (必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】	数 理	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物から1	共通テスト	100	※50	※50	100	100	250		600
							個別学力検査				150	150			300
計		100	※50	※50	250	250	250		900						
後期日程		数 理 外	数Ⅰ・数A (必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科4科目】	その他	小論文	共通テスト				200	200	200		600	
	個別学力検査										300	300			
計				200	200	200	300	900							

(注1) 大学入学共通テストの利用教科・科目について

・科目名は次のとおり略記しています。

国 (国語), 世A (世界史A), 世B (世界史B), 日A (日本史A), 日B (日本史B), 現社 (現代社会), 倫 (倫理), 政経 (政治・経済), 倫政経 (倫理, 政治・経済), 数Ⅰ・数A (数学Ⅰ・数学A), 数Ⅱ・数B (数学Ⅱ・数学B), 簿 (簿記・会計), 情報 (情報関係基礎), 物基礎 (物理基礎), 物 (物理), 化基礎 (化学基礎), 化 (化学), 生基礎 (生物基礎), 生 (生物), 英 (英語), 独 (ドイツ語), 仏 (フランス語), 中 (中国語), 韓 (韓国語)

・国語は近代以降の文章, 古典 (古文, 漢文) の全てを利用します。

・英語にはリスニングを含みます。

・指定した教科・科目数を超過して受験した場合は, 第1解答科目, 第2解答科目の別がある教科・科目については第1解答科目の成績を, その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。

・簿記・会計, 情報関係基礎を選択することができる者は, 高等学校もしくは中等教育学校において, これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了 (見込み) 者に限ります。

(注2) 個別学力検査等について

・数学のうち「数学B」の出題範囲は, 「数列」「ベクトル」とします。

・理科のうち「物理基礎・物理」の出題範囲は, 全範囲とします。

・理科のうち「化学基礎・化学」の出題範囲は, 全範囲とします。

・理科のうち「生物基礎・生物」の出題範囲は, 全範囲とします。

(注3) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点及び得点について

・配点に※印を付してある教科は, 選択教科を表します。

・海洋生命科学部の大学入学共通テスト及び個別学力検査等の得点は科目ごとに偏差値に換算します。

・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。

海洋生物資源学科 リーディング2:リスニング1

食品生産科学科 リーディング4:リスニング1

《海洋生命科学部 海洋政策文化学科》

学部・学科	日程	共通テスト		個別学力検査		配点										
		教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	合計		
海洋生命科学部 海洋政策文化学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 数Ⅰ・数A (必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】	から1	数 理 その他	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物 小論文	から1	共通テスト	100	※50	※50	100	100	250		600
								個別学力検査				① ※100	② ※100		200	300
								計	①	100	※50	※50	200	100	250	200
		計	②	100	※50	※50	100	200	250	200	900					
		国 地歴 公民 数 理 外	または 国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 (地歴において, 同一名称を含む2科目 の組合せは選択できない。公民は1まで) 数Ⅰ・数A (必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基礎, 化基礎, 生基礎, 地学基礎から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科8科目又は6教科8科目】	から2	数 理 その他	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物 小論文	から1	共通テスト	100	※100	※100	100	50	250		600
								個別学力検査				① ※100	② ※100		200	300
	計							①	100	※100	※100	200	50	250	200	900
	計	②	100	※100	※100	100	150	250	200	900						
	後期日程	国 地歴 公民 数 理 外	または 国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 (地歴において, 同一名称を含む2科目 の組合せは選択できない。公民は1まで) 数Ⅰ・数A (必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目又は6教科7科目】	から2	数 理 その他	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物 小論文	から1	共通テスト	100	※100	※100	100	50	250		600
								個別学力検査				① ※100	② ※100		200	300
								計	①	100	※100	※100	200	50	250	200
		計	②	100	※100	※100	100	150	250	200	900					
国 地歴 公民 数 理 外		数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 物, 化, 生, 地学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科3科目】	から1	その他	小論文	から1	共通テスト	200 ※1	200 ※2	200 ※2	200 ※1	200 ※2	200		600	
							個別学力検査								300	300
	計						200 ※1	200 ※2	200 ※2	200 ※1	200 ※2	200	300	900		

(注1) 大学入学共通テストの利用教科・科目について

・科目名は次のとおり略記しています。

国 (国語), 世A (世界史A), 世B (世界史B), 日A (日本史A), 日B (日本史B), 現社 (現代社会), 倫 (倫理), 政経 (政治・経済), 倫政経 (倫理, 政治・経済), 数Ⅰ・数A (数学Ⅰ・数学A), 数Ⅱ・数B (数学Ⅱ・数学B), 簿 (簿記・会計), 情報 (情報関係基礎), 物基礎 (物理基礎), 物 (物理), 化基礎 (化学基礎), 化 (化学), 生基礎 (生物基礎), 生 (生物), 英 (英語), 独 (ドイツ語), 仏 (フランス語), 中 (中国語), 韓 (韓国語)

・国語は近代以降の文章, 古典 (古文, 漢文) の全てを利用します。

・英語にはリスニングを含みます。

・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は, 第1解答科目, 第2解答科目の別がある教科・科目については第1解答科目の成績を, その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。

・簿記・会計, 情報関係基礎を選択することができる者は, 高等学校もしくは中等教育学校において, これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了 (見込み) 者に限ります。

(次ページに続く)

(注2) 個別学力検査等について

- ・数学のうち「数学B」の出題範囲は、「数列」「ベクトル」とします。
- ・理科のうち「物理基礎・物理」の出題範囲は、全範囲とします。
- ・理科のうち「化学基礎・化学」の出題範囲は、全範囲とします。
- ・理科のうち「生物基礎・生物」の出題範囲は、全範囲とします。

(注3) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点及び得点について

- ・配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ・後期日程は、※1の「国語」または「数学」から1教科、※2の「地歴」「公民」または「理科」から1教科を選択するものとします。
- ・海洋生命科学部の大学入学共通テスト及び個別学力検査等の得点は科目ごとに偏差値に換算します。
- ・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。
海洋政策文化学科 リーディング4：リスニング1

《海洋工学部 海事システム工学科・海洋電子機械工学科》

学部・学科	日程	共通テスト		個別学力検査		配点									
		教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	合計	
海洋工学部	前期日程	国	国	}から1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B または 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B	共通テスト	200	※100	※100	200	200	100		800
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B		外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーショ ン英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	個別学力検査				300		200		500
		公民	現社, 倫, 政経, 倫政経				計	200	※100	※100	500	200	300		1300
	後期日程	国	国	}から1	理	物理基礎・物理	共通テスト	※200	※200	※200	400	※200	200		800
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B		外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーショ ン英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	個別学力検査					300	200		500
		公民	現社, 倫, 政経, 倫政経				計	※200	※200	※200	400	300	400		1300
海洋電子機械工学科	前期日程	国	国	}から1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B または 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B	共通テスト	100	※100	※100	200	200	200		800
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B		外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーショ ン英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	個別学力検査				300		100		400
		公民	現社, 倫, 政経, 倫政経				計	100	※100	※100	500	200	300		1200
	後期日程	数	数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物(必須) 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】	理	物理基礎・物理	共通テスト				200	100	200		500	
		理	数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科5科目】	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーショ ン英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	個別学力検査					200	50		250	
		外			計				200	300	250		750		

(注1) 大学入学共通テストの利用教科・科目について

・科目名は次のとおり略記しています。

国(国語), 世A(世界史A), 世B(世界史B), 日A(日本史A), 日B(日本史B), 現社(現代社会), 倫(倫理), 政経(政治・経済), 倫政経(倫理, 政治・経済), 数Ⅰ・数A(数学Ⅰ・数学A), 数Ⅱ・数B(数学Ⅱ・数学B), 簿(簿記・会計), 情報(情報関係基礎), 物基礎(物理基礎), 物(物理), 化基礎(化学基礎), 化(化学), 生基礎(生物基礎), 生(生物), 英(英語), 独(ドイツ語), 仏(フランス語), 中(中国語), 韓(韓国語)

・国語は近代以降の文章, 古典(古文, 漢文)の全てを利用します。

・英語にはリスニングを含みます。

・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は, 第1解答科目, 第2解答科目の別がある教科・科目については第1解答科目の成績を, その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。

・簿記・会計, 情報関係基礎を選択することができる者は, 高等学校もしくは中等教育学校において, これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

(注2) 個別学力検査等について

・数学のうち「数学B」の出題範囲は, 「数列」「ベクトル」とします。

・理科のうち「物理基礎・物理」の出題範囲は, 全範囲とします。

・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱの出題内容は, 「和文英訳(与えられた条件に従って日本語の文を英文に書き換える問題)」とします。

(次ページに続く)

(注3) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点及び得点について

- ・配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。
海事システム工学科、海洋電子機械工学科 リーディング4：リスニング1

《海洋工学部 流通情報工学科》

学部・学科	日程	共通テスト		個別学力検査		配点										
		教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	合計		
海洋工学部 流通情報工学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 数Ⅰ・数A (必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基礎, 化基礎, 生基礎, 地学基礎から2 および物, 化, 生, 地学から1 (同一名称を含む科目を選択することはできない) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科8科目】	から1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B または 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B	共通テスト	100	※100	※100	200	200	100		700	
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーション 英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	個別学力検査					200		100		300
					計	100	※100	※100	400	200	200			1000		
		国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 数Ⅰ・数A (必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】	から1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B または 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B	共通テスト	100	※100	※100	200	200	100		700	
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーション 英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	個別学力検査				200		100		300	
					計	100	※100	※100	400	200	200			1000		
		国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 (地歴において, 同一名称を含む2科目の 組合せは選択できない。公民は1まで) 数Ⅰ・数A (必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基礎, 化基礎, 生基礎, 地学基礎から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科8科目又は6教科8科目】	から2	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B または 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B	共通テスト	100	※200	※200	200	100	100		700	
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーション 英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	個別学力検査				200		100		300	
					計	100	※200	※200	400	100	200			1000		
		国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 (地歴において, 同一名称を含む2科目の 組合せは選択できない。公民は1まで) 数Ⅰ・数A (必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目又は6教科7科目】	から2	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B または 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B	共通テスト	100	※200	※200	200	100	100		700	
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーション 英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	個別学力検査				200		100		300	
					計	100	※200	※200	400	100	200			1000		

《海洋工学部 流通情報工学科》

学部・学科		日程	共通テスト		個別学力検査		配点									
			教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	合計	
海洋工学部	流通情報工学科	後期日程	国 数 外	国 数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科4科目】	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	200			400			200		800
							個別学力検査						200		200	
							計	200			400		400		1000	
			地歴 公民 数 外	または 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 } から1 数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科4科目】	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト		※200	※200	400			200		800
							個別学力検査						200		200	
							計		※200	※200	400		400		1000	
		数 理 外	または 数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基礎, 化基礎, 生基礎, 地学基礎から2 または物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科4科目又は5科目】	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト				400	200		200		800	
						個別学力検査						200		200		
						計				400	200	400		1000		

(注1) 大学入学共通テストの利用教科・科目について

- ・科目名は次のとおり略記しています。

国(国語), 世A(世界史A), 世B(世界史B), 日A(日本史A), 日B(日本史B), 現社(現代社会), 倫(倫理), 政経(政治・経済), 倫政経(倫理, 政治・経済), 数Ⅰ・数A(数学Ⅰ・数学A), 数Ⅱ・数B(数学Ⅱ・数学B), 簿(簿記・会計), 情報(情報関係基礎), 物基礎(物理基礎), 物(物理), 化基礎(化学基礎), 化(化学), 生基礎(生物基礎), 生(生物), 英(英語), 独(ドイツ語), 仏(フランス語), 中(中国語), 韓(韓国語)

- ・国語は近代以降の文章, 古典(古文, 漢文)の全てを利用します。

- ・英語にはリスニングを含みます。

- ・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は, 第1解答科目, 第2解答科目の別がある教科・科目については第1解答科目の成績を, その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。

- ・簿記・会計, 情報関係基礎を選択することができる者は, 高等学校もしくは中等教育学校において, これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

(注2) 個別学力検査等について

- ・数学のうち「数学B」の出題範囲は, 「数列」「ベクトル」とします。

- ・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱの出題内容は, 「和文英訳(与えられた条件に従って日本語の文を英文に書き換える問題)」とします。

(注3) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点及び得点について

- ・配点に※印を付してある教科は, 選択教科を表します。

- ・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。

流通情報工学科 リーディング4:リスニング1

《海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科》

学部・学科	日程	共通テスト		個別学力検査		配点								
		教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	合計
海洋資源環境学部	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】	数 理	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物から1	共通テスト	100	※50	※50	100	100	250		600
						個別学力検査				250	250		500	
						計	100	※50	※50	350	350	250		1100
	後期日程	数 理 外	数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科4科目】	その他	小論文	共通テスト				200	200	200		600
						個別学力検査						300	300	
						計				200	200	200	300	900
海洋資源エネルギー学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】	数 理	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物から1	共通テスト	100	※50	※50	100	100	250		600
						個別学力検査				250	250		500	
						計	100	※50	※50	350	350	250		1100
	後期日程	数 理 外	数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科4科目】	その他	小論文	共通テスト				200	200	200		600
						個別学力検査						300	300	
						計				200	200	200	300	900

(注1) 大学入学共通テストの利用教科・科目について

・科目名は次のとおり略記しています。

国(国語), 世A(世界史A), 世B(世界史B), 日A(日本史A), 日B(日本史B), 現社(現代社会), 倫(倫理), 政経(政治・経済), 倫政経(倫理, 政治・経済), 数Ⅰ・数A(数学Ⅰ・数学A), 数Ⅱ・数B(数学Ⅱ・数学B), 簿(簿記・会計), 情報(情報関係基礎), 物基礎(物理基礎), 物(物理), 化基礎(化学基礎), 化(化学), 生基礎(生物基礎), 生(生物), 英(英語), 独(ドイツ語), 仏(フランス語), 中(中国語), 韓(韓国語)

・国語は近代以降の文章, 古典(古文, 漢文)の全てを利用します。

・英語にはリスニングを含みます。

・指定した教科・科目数を超過して受験した場合は, 第1解答科目, 第2解答科目の別がある教科・科目については第1解答科目の成績を, その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。

・簿記・会計, 情報関係基礎を選択することができる者は, 高等学校もしくは中等教育学校において, これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

(注2) 個別学力検査等について

・数学のうち「数学B」の出題範囲は, 「数列」「ベクトル」とします。

・理科のうち「物理基礎・物理」の出題範囲は, 全範囲とします。

・理科のうち「化学基礎・化学」の出題範囲は, 全範囲とします。

・理科のうち「生物基礎・生物」の出題範囲は, 全範囲とします。

(注3) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点及び得点について

・配点に※印を付してある教科は, 選択教科を表します。

・海洋資源環境学部の大学入学共通テスト及び個別学力検査等の得点は科目ごとに偏差値に換算します。

・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。

海洋環境科学科, 海洋資源エネルギー学科 リーディング4:リスニング1

◎海洋資源環境学部の一般選抜は, 前期日程・後期日程とも海洋資源環境学部の2学科間で, 第2志望を認めます。海洋資源環境学部の全受験者を合計得点順に並べ, その上位者から出願時の志望に応じて順次, 合格者を決定します。

Ⅲ 総合型選抜

1 海洋生命科学部総合型選抜

(1) 総合型選抜 A (一般)

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋生物資源学科
募集人員	一般 8 名 水産教員養成課程若干名 (10 ページ参照)
出願資格等	<p>次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(7)を満たす者</p> <p>(1)高等学校または中等教育学校を卒業した者及び 2023 年 3 月までに卒業見込みの者</p> <p>(2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び 2023 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>(3)学校教育法施行規則 (昭和 22 年文部省令第 11 号) 第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び 2023 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(4)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー (入学者受入方針) 及び学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(5)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(6)高等学校または中等教育学校で、次の各号のいずれかを履修した (している) 者</p> <p>①現行学習指導要領による「物理」、「化学」、「生物」または「地学」から、合計 2 科目以上を履修した (している) 者 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」は認めない。)</p> <p>②旧学習指導要領による物理系※、化学系※、生物系※または地学系※のうち、複数の系にまたがり合計 2 科目以上を履修した (している) 者</p> <p>※物理系、化学系、生物系、地学系とは、例えば、物理系においては、物理Ⅰ、物理Ⅱ等、科目名に物理の名称がつく科目のことをいう。化学系、生物系、地学系についても同様。</p> <p>(7)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (23 ページ参照)</p>
選抜方法等	<p>【第 1 次選抜】 次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、募集人員の 3 倍程度を合格者とします。</p> <p>(1)小論文 (2)調査書等 (3)志望理由書</p> <p>【第 2 次選抜】 第 1 次選抜の合格者に対して、次の項目により多面的、総合的に評価して総合型選抜合格者を決定します。</p> <p>(1)第 1 次選抜の成績 (2)模擬講義を聴講し作成した聴講論文 (3)個人面接</p>
出願期間	2022 年 11 月 1 日 (火) ～11 月 5 日 (土)
選抜期日	<p>【第 1 次選抜】 2022 年 11 月 25 日 (金)</p> <p>【第 2 次選抜】 2022 年 12 月 20 日 (火)</p>
合格発表日	第 1 次選抜 2022 年 12 月 9 日 (金) 最終合格 2023 年 1 月 17 日 (火)
その他	詳細は、2022 年 9 月頃に公表する「令和 5 (2023) 年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

総合型選抜 A (一般)

実施学部・ 学科名	海洋生命科学部 海洋政策文化学科
募集人員	5名
出願資格等	<p>次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(8)を満たす者</p> <p>(1)高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2023年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3)学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(4)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)及び学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(5)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(6)高等学校または中等教育学校等で、物理系※、化学系※または生物系※のうち、複数の系にまたがり合計2科目以上を履修した(している)者</p> <p>※物理系、化学系、生物系とは、例えば、物理系においては、(現行学習指導要領による)物理基礎、物理、(旧学習指導要領による)物理Ⅰ、物理Ⅱ等、科目名に物理の名称がつく科目のことをいう。化学系、生物系についても同様。</p> <p>(7)大学入学共通テストに出願する者(共通テストの出願自体は総合型選抜出願後になります)</p> <p>(8)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者(23ページ参照)</p>
選抜方法等	<p>【第1次選抜】 次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、募集人員の3倍程度までを第1次選抜の合格者とします。</p> <p>(1)小論文 (2)面接 (3)提出書類(調査書、志望理由書等。出願要件としての英語資格検定の資料は除く)</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜の合格者に対して、次の項目により多面的、総合的に評価して合格者と条件付合格者を決定します。</p> <p>(1)第1次選抜の各項目 (2)模擬講義を聴講し作成した聴講論文 (3)面接</p> <p>条件付合格者には、大学入学共通テストの海洋政策文化学科の一般選抜前期日程または後期日程で必要となる教科・科目を受験することを求め、その点数により、最終結果を通知します。</p>
出願期間	2022年9月1日(木)～9月7日(水)
選抜期日	<p>【第1次選抜】2022年9月30日(金)</p> <p>【第2次選抜】2022年11月25日(金)</p>
合格発表日	<p>第1次選抜2022年11月1日(火)</p> <p>第2次選抜2022年12月9日(金)</p> <p>条件付合格者の最終結果通知日 2023年2月14日(火)以降</p>
その他	詳細は、2022年7月頃に公表する「令和5(2023)年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

(2) 総合型選抜 B (専門学科・総合学科卒業生)

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋政策文化学科
募集人員	若干名
出願資格等	<p>次の(1)～(5)の要件をすべて満たす者</p> <p>(1)高等学校または中等教育学校において、水産に関する学科を卒業した者及び 2023 年 3 月までに卒業見込みの者、あるいは水産・海洋系の科目※を 25 単位以上修得し卒業した者及び 2023 年 3 月までに修得・卒業見込みの者</p> <p>※水産・海洋系の科目とは、学習指導要領で示される教科「水産」に属する科目及び学校設定科目において水産・海洋の内容に関わる科目を指す。なお、学校設定科目を上記の 25 単位に含める場合には、出身学校において、調査書の備考欄に、その修得した科目が水産・海洋系に関わる内容であることを示すこと。</p> <p>(2)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(3)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(4)高等学校または中等教育学校で、次の各号のいずれかを履修した（している）者</p> <p>①物理系※、化学系※または生物系※のうち、複数の系にまたがり合計 2 科目以上を履修した（している）者</p> <p>②物理系※、化学系※または生物系※のうち、いずれか 1 科目、及び「科学と人間生活」の計 2 科目以上を履修した（している）者</p> <p>③物理系※、化学系※または生物系※のうち、いずれか 1 科目、及び（旧学習指導要領による）理科総合 A または理科総合 B のうち、いずれか 1 科目の計 2 科目以上を履修した者</p> <p>※物理系、化学系、生物系とは、例えば、物理系においては、（現行学習指導要領による）物理基礎、物理、（旧学習指導要領による）物理 I、物理 II 等、科目名に物理の名称がつく科目のことをいう。化学系、生物系についても同様。</p> <p>(5)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者（23 ページ参照）</p>
選抜方法等	<p>次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行います。</p> <p>(1)小論文 (2)面接・口頭試問 (3)提出書類（調査書、志望理由書等。出願要件としての英語資格検定の資料は除く）</p> <p>※(1)および(2)は、高等学校課程での基礎的な学力も加味したものになります。</p>
出願期間	2022 年 9 月 1 日（木）～9 月 7 日（水）
選抜期日	2022 年 9 月 30 日（金）
合格発表日	2022 年 11 月 1 日（火）
その他	詳細は、2022 年 7 月頃に公表する「令和 5（2023）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

(3) 総合型選抜 C-I 型 (帰国子女)

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋生物資源学科・食品生産科学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受け、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者（転勤等により保護者が先に日本に帰国し、その子女のみが単身で在留する場合も出願を認める。）</p> <p>[基礎資格]</p> <p>次の(1)～(6)のいずれかに該当する者で、2023年4月1日現在において、下記(1)～(5)の基礎資格取得後2年以内である者(2021年4月1日から2023年3月31日までに取得していること)</p> <p>(1)外国及び日本の正規の学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者、またはこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの(注)。ただし、12年の課程の最終4か年のうち、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けていること。</p> <p>(注)上記の「これに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの」とは、次のとおりである。(昭和56年文部省告示第153号第1号)</p> <p>外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者。外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。</p> <p>(2)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を取得した者</p> <p>(3)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者</p> <p>(4)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者</p> <p>(5)グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者</p> <p>(6)国際的な評価団体(WASC, ACSI, CIS, NEASC)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は修了見込みの者</p> <p>[要件] 次の(7)～(9)を満たす者</p> <p>(7)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者(23ページ参照)</p> <p>(8)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(9)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p>
選抜方法等	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類(出願要件としての英語資格検定の資料は除く)の内容を総合して行います。
出願期間	2022年11月1日(火)～11月5日(土)
選抜期日	2022年11月25日(金)
合格発表日	2022年12月9日(金)
その他	詳細は、2022年9月頃に公表する「令和5(2023)年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

総合型選抜 C-I 型（帰国子女）

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋政策文化学科
募集人員	若干名
出願資格等	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受け、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者（転勤等により保護者が先に日本に帰国し、その子女のみが単身で在留する場合も出願を認める。）</p> <p>〔基礎資格〕 次の(1)～(6)のいずれかに該当する者で、2023年4月1日現在において、下記(1)～(5)の基礎資格取得後2年以内である者(2021年4月1日から2023年3月31日までに取得していること)</p> <p>(1)外国及び日本の正規の学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者、またはこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの(注)。ただし、12年の課程の最終4か年のうち、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けていること。 (注)上記の「これに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの」とは、次のとおりである。 (昭和56年文部省告示第153号第1号) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者。外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。</p> <p>(2)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を取得した者 (3)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者 (4)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者 (5)グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者 (6)国際的な評価団体(WASC, ACSI, CIS, NEASC)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は修了見込みの者</p> <p>〔要件〕 次の(7)～(9)を満たす者 (7)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者(23ページ参照) (8)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (9)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p>
選抜方法等	<p>【第1次選抜】 次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、第1次選抜の合格者とします。 (1)小論文 (2)面接 (3)提出書類(調査書、志望理由書等。出願要件としての英語資格検定の資料は除く)</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜の合格者に対して、次の項目により多面的、総合的に評価して合格者を決定します。 (1)第1次選抜の各項目 (2)模擬講義を聴講し作成した聴講論文 (3)面接</p>
出願期間	2022年9月1日(木)～9月7日(水)
選抜期日	【第1次選抜】2022年9月30日(金) 【第2次選抜】2022年11月25日(金)
合格発表日	【第1次選抜】2022年11月1日(火) 【最終合格】2022年12月9日(金)
その他	詳細は、2022年7月頃に公表する「令和5(2023)年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

(4) 総合型選抜 C－II 型（留学経験者）

実施学部・ 学科名	海洋生命科学部 海洋生物資源学科・食品生産科学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	<p>日本国籍を有する者、または日本国の永住許可を得ている者で、次の(1)～(6)の要件をすべて満たす者</p> <p>(1)日本の高等学校在籍中に1年（School Year）以上の海外留学経験を有し、留学先での成績証明書を提出できること。</p> <p>(2)2023年3月に日本の高等学校を卒業見込みであること（ただし、海外留学したことにより、2022年4月1日から2023年3月31日の間に日本の高等学校を卒業した者を含む）。</p> <p>(3)以下に示す外国語検定試験を2019年1月～2022年10月の間に受験し、その有効な公式スコアまたは合格を証明する書類を提出できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語 TOEFL, TOEIC, IELTS, ケンブリッジ英検, 実用英語技能検定 ・ドイツ語 Goethe-Institut のドイツ語検定試験, ドイツ語技能検定試験 ・フランス語 TCF, DELF/DALF, 実用フランス語技能検定試験 ・スペイン語 DELE, スペイン語技能検定試験 ・中国語 HSK, 中国語検定試験 ・韓国語 TOPIK, ハングル能力検定試験 ・その他言語 言語能力を証明する試験 <p>※上記はあくまでも一部の例示であり、外国語検定試験について不明な点がある場合は、東京海洋大学入試課にお問い合わせください。</p> <p>(4) 海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者（23 ページ参照）</p> <p>(5)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(6)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p>
選抜方法等	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類の内容を総合して行います。
出願期間	2022年11月1日（火）～11月5日（土）
選抜期日	2022年11月25日（金）
合格発表日	2022年12月9日（金）
その他	詳細は、2022年9月頃に公表する「令和5（2023）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

総合型選抜 C-Ⅱ型（留学経験者）

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋政策文化学科
募集人員	若干名
出願資格等	<p>日本国籍を有する者、または日本国の永住許可を得ている者で、次の(1)～(7)の要件をすべて満たす者</p> <p>(1)日本の高等学校または中等教育学校後期課程または高等専門学校在籍中に1年（School Year）以上の海外留学経験を有し、留学先での成績証明書を提出できること。</p> <p>(2)2023年3月に日本の高等学校を卒業見込みであること（ただし、海外留学したことにより、2022年4月1日から2023年3月31日の間に日本の高等学校を卒業した者を含む）。</p> <p>(3)以下に示す外国語検定試験を2019年1月～2022年8月の間に受験し、その有効な公式スコアまたは合格を証明する書類を提出できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語 TOEFL, TOEIC, IELTS, ケンブリッジ英検, 実用英語技能検定 ・ドイツ語 Goethe-Institut のドイツ語検定試験, ドイツ語技能検定試験 ・フランス語 TCF, DELF/DALF, 実用フランス語技能検定試験 ・スペイン語 DELE, スペイン語技能検定試験 ・中国語 HSK, 中国語検定試験 ・韓国語 TOPIK, ハングル能力検定試験 ・その他言語 言語能力を証明する試験 <p>※上記はあくまでも一部の例示であり、外国語検定試験について不明な点がある場合は、東京海洋大学入試課にお問い合わせください。</p> <p>(4)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者（23ページ参照）</p> <p>(5)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(6)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(7)高等学校または中等教育学校で、物理系※、化学系※または生物系※のうち、複数の系にまたがり合計2科目以上を履修した（している）者</p> <p>※物理系、化学系、生物系とは、例えば、物理系においては、（現行学習指導要領による）物理基礎、物理、（旧学習指導要領による）物理Ⅰ、物理Ⅱ等、科目名に物理の名称がつく科目のことをいう。化学系、生物系、についても同様。</p>
選抜方法等	<p>【第1次選抜】 次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、第1次選抜の合格者とします。 (1)小論文 (2)面接 (3)提出書類（調査書、志望理由書等。出願要件としての英語資格検定の資料は除く）</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜の合格者に対して、次の項目により多面的、総合的に評価して合格者を決定します。 (1)第1次選抜の各項目 (2)模擬講義を聴講し作成した聴講論文 (3)面接</p>
出願期間	2022年9月1日（木）～9月7日（水）
選抜期日	<p>【第1次選抜】 2022年9月30日（金）</p> <p>【第2次選抜】 2022年11月25日（金）</p>
合格発表日	<p>【第1次選抜】 2022年11月1日（火）</p> <p>【最終合格】 2022年12月9日（金）</p>
その他	詳細は、2022年7月頃に公表する「令和5（2023）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

(5) 総合型選抜 E (社会人)

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋生物資源学科・食品生産科学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	2023年3月31日までに満23歳に達し、社会人としての経験を5年以上有する者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(6)を満たす者 (1)高等学校または中等教育学校を卒業した者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3)学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (4)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者(23ページ参照) (5)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (6)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者
選抜方法等	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類(出願要件としての英語資格検定の資料は除く)の内容を総合して行います。
出願期間	2022年11月1日(火)～11月5日(土)
選抜期日	2022年11月25日(金)
合格発表日	2022年12月9日(金)
その他	詳細は、2022年9月頃に公表する「令和5(2023)年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

総合型選抜 E (社会人)

実施学部・ 学科名	海洋生命科学部 海洋政策文化学科
募集人員	若干名
出願資格等	<p>2023年3月31日までに満23歳に達し、社会人としての経験を5年以上有する者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(6)を満たす者</p> <p>(1)高等学校または中等教育学校を卒業した者</p> <p>(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>(3)学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(4)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者(23ページ参照)</p> <p>(5)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(6)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p>
選抜方法等	<p>【第1次選抜】 次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、第1次選抜の合格者とします。 (1)小論文 (2)面接 (3)提出書類(調査書、志望理由書等。出願要件としての英語資格検定の資料は除く)</p> <p>第2次選抜】 第1次選抜の合格者に対して、次の項目により多面的、総合的に評価して合格者を決定します。 (1)第1次選抜の各項目 (2)模擬講義を聴講し作成した聴講論文 (3)面接</p>
出願期間	2022年9月1日(木)～9月7日(水)
選抜期日	<p>【第1次選抜】 2022年9月30日(金)</p> <p>【第2次選抜】 2022年11月25日(金)</p>
合格発表日	<p>【第1次選抜】 2022年11月1日(月)</p> <p>【最終合格】 2022年12月9日(金)</p>
その他	詳細は、2022年7月頃に公表する「令和5(2023)年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

2 海洋工学部総合型選抜

(1) 総合型選抜 A (一般)

実施学部・ 学 科 名	海 洋 工 学 部		
	海事システム工学科	海洋電子機械工学科	流通情報工学科
募集人員	7 名	6 名	7 名
出願資格等	<p>次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(6)を満たす者</p> <p>(1)高等学校または中等教育学校を卒業した者及び 2023 年 3 月までに卒業見込みの者</p> <p>(2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び 2023 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>(3)学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び 2023 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(4)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(5)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(6) 海洋工学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者（24 ページ参照）</p>		
選抜方法等	<p>【第 1 次選抜】 以下の出願書類により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、募集人員の 3 倍程度を合格者とします。 (1)調査書等 (2)志望理由・自己推薦書</p> <p>【第 2 次選抜】（学科ごとに選抜方法は異なります。） 第 1 次選抜の合格者に対して、学科ごとに第 2 次選抜を行い、第 1 次選抜の成績、第 2 次選抜の成績及び調査書の内容を総合的に評価して、合格者を決定します。</p>		
出願期間	2022 年 9 月 1 日（木）～9 月 7 日（水）		
選抜期日	<p>【第 1 次選抜】 2022 年 9 月 14 日（水）から 9 月 22 日（木）</p> <p>【第 2 次選抜】 2022 年 10 月 21 日（金）</p>		
合格発表日	<p>第 1 次選抜 2022 年 10 月 14 日（金）</p> <p>最終合格 2022 年 11 月 11 日（金）</p>		
そ の 他	詳細は、2022 年 7 月頃に公表する「令和 5（2023）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。		

(2) 総合型選抜 B (専門学科・総合学科卒業生)

実施学部・ 学 科 名	海 洋 工 学 部		
	海事システム工学科	海洋電子機械工学科	流通情報工学科
募集人員	2 名	3 名	1 名
出願資格等	<p>次の(1)または(2)のいずれかに該当し、かつ(3)～(5)を満たす者</p> <p>(1)高等学校または中等教育学校の工業・情報に関する学科を卒業した者及び 2023 年 3 月までに卒業見込みの者 また、海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限り、高等学校もしくは中等教育学校の海洋技術に関する学科または海上技術学校^(注)を卒業した者及び 2023 年 3 月までに卒業見込みの者も含む。 (注) 海上技術学校とは、独立行政法人海技教育機構法(平成 11 年法律第 214 号)による海上技術学校(旧独立行政法人海員学校及び旧運輸省組織令による海員学校を含む。)の本科を指す。</p> <p>(2)高等学校または中等教育学校の総合学科を卒業した者及び 2023 年 3 月までに卒業見込みの者で工業・情報に関する科目を 20 単位以上修得した者及び修得見込みの者</p> <p>(3)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(4)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(5)海洋工学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者(24 ページ参照)</p>		
選抜方法等	<p>【第 1 次選抜】 以下の出願書類に基づき、多面的・総合的に評価して選抜を行い、募集人員の 3 倍程度を合格者とします。 (1)調査書 (2)志望理由・自己推薦書</p> <p>【第 2 次選抜】(学科ごとに選抜方法は異なります。) 第 1 次選抜の合格者に対して、学科ごとに第 2 次選抜を行い、第 1 次選抜の成績、第 2 次選抜の成績及び調査書の内容を総合的に評価して、合格者を決定します。</p>		
出願期間	2022 年 9 月 1 日(木)～9 月 7 日(水)		
選抜期日	<p>【第 1 次選抜】 2022 年 9 月 14 日(水)から 9 月 22 日(木)</p> <p>【第 2 次選抜】 2022 年 10 月 21 日(金)</p>		
合格発表日	<p>【第 1 次選抜】 2022 年 10 月 14 日(金)</p> <p>【最終合格】 2022 年 11 月 11 日(金)</p>		
そ の 他	詳細は、2022 年 7 月頃に公表する「令和 5 (2023) 年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。		

(3) 総合型選抜 C-I 型 (帰国生)

実施学部・ 学科名	海洋工学部 各学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、外国の学校教育を受け、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者</p> <p>[基礎資格]</p> <p>次の(1)~(6)のいずれかに該当する者</p> <p>(1)外国及び日本の正規の学校教育における 12 年の課程を修了した者及び修了見込みの者、またはこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの^(注)。</p> <p>ただし、12 年の課程の最終 4 か年のうち、外国において 1 年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている必要があります。</p> <p>(注)上記の「これに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの」(昭和 56 年文部省告示第 153 号第 1 号)とは、外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者である。外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p> <p>(2)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を取得した者</p> <p>(3)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者</p> <p>(4)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者</p> <p>(5)グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者</p> <p>(6)国際的な評価団体(WASC, ACSI, CIS, NEASC)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者又は修了見込みの者</p> <p>[要件] 次の(7)~(10)の要件をすべて満たす者</p> <p>(7)2023 年 4 月 1 日現在において基礎資格取得後 2 年以内であること。(2021 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに取得していること。)</p> <p>(8)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(9)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(10)海洋工学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者(24 ページ参照)</p>
選抜方法等	<p>【第 1 次選抜】</p> <p>以下の出願書類に基づき、多面的・総合的に評価して選抜を行います。</p> <p>(1)成績証明書等 (2)志望理由・自己推薦書</p> <p>【第 2 次選抜】(学科ごとに選抜方法は異なります。)</p> <p>第 1 次選抜の合格者に対して、学科ごとに第 2 次選抜を行い、第 1 次選抜の成績、第 2 次選抜の成績及び調査書の内容を総合的に評価して、合格者を決定します。</p>
出願期間	2022 年 9 月 1 日(木)~9 月 7 日(水)
選抜期日	<p>【第 1 次選抜】2022 年 9 月 14 日(水)から 9 月 22 日(木)</p> <p>【第 2 次選抜】2022 年 10 月 21 日(金)</p>
合格発表日	<p>【第 1 次選抜】 2022 年 10 月 14 日(金)</p> <p>【最終合格】 2022 年 11 月 11 日(金)</p>
そ の 他	詳細は、2022 年 7 月頃に公表する「令和 5 (2023) 年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

(4) 総合型選抜 D (商船教員養成コース)

実施学部・ 学 科 名	海洋工学部 海洋電子機械工学科
募集人員	2 名
出願資格等	<p>2022 年 4 月から 2023 年 3 月までに高等学校または中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>[要件]</p> <p>(1)人物、学業成績が共に優れ、商船教員を目指して意欲的に勉学に励むことを確約できる者</p> <p>(2)調査書の全体の評定平均値が 4.5 以上の者</p> <p>(3)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(4)海洋工学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (24 ページ参照)</p>
選抜方法等	<p>【第 1 次選抜】 以下の出願書類に基づき、多面的・総合的に評価して選抜を行います。 (1)調査書 (2)志望理由・自己推薦書</p> <p>【第 2 次選抜】 第 1 次選抜の合格者に対して、第 2 次選抜を行い、第 1 次選抜の成績、第 2 次選抜の成績及び調査書の内容を総合的に評価して、合格者を決定します。</p>
出願期間	2022 年 9 月 1 日 (木) ~9 月 7 日 (水)
選抜期日	<p>【第 1 次選抜】 2022 年 9 月 14 日 (水) から 9 月 22 日 (木)</p> <p>【第 2 次選抜】 2022 年 10 月 21 日 (金)</p>
合格発表日	<p>【第 1 次選抜】 2022 年 10 月 14 日 (金)</p> <p>【最終合格】 2022 年 11 月 11 日 (金)</p>
そ の 他	詳細は、2022 年 7 月頃に公表する「令和 5 (2023) 年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

(注)商船教員養成コースは、商船教育 (海技士養成) 機関の機関系教員を養成するコースです。

本コースでは主に、全国各地の水産・海洋系高等学校、または水産・海洋系の学科及びコースを持つ高等学校の教員となることを目指します。商船教員養成コースに入学した学生は、3 年次に機関システム工学コースに所属します。機関システム工学コースの卒業要件 (129 単位) に加えて、「商船」の教育職員免許状取得に必要な教職科目 (27 単位) の単位取得が本コースの卒業要件となります。

(5) 総合型選抜 E (社会人)

実施学部・ 学 科 名	海洋工学部 各学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	<p>2023年3月31日までに満23歳に達し、社会人としての経験を5年以上有する者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(6)を満たす者</p> <p>(1)高等学校または中等教育学校を卒業した者</p> <p>(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>(3)学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(4)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(5)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(6)海洋工学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者(24ページ参照)</p>
選抜方法等	<p>【第1次選抜】 以下の出願書類に基づき、多面的・総合的に評価して選抜を行います。 (1)調査書 (2)志望理由・自己推薦書</p> <p>【第2次選抜】(学科ごとに選抜方法は異なります。) 第1次選抜の合格者に対して、学科ごとに第2次選抜を行い、第1次選抜の成績、第2次選抜の成績及び調査書の内容を総合的に評価して、合格者を決定します。</p>
出願期間	2022年9月1日(木)～9月7日(水)
選抜期日	<p>【第1次選抜】2022年9月14日(水)から9月22日(木)</p> <p>【第2次選抜】2022年10月21日(金)</p>
合格発表日	<p>【第1次選抜】 2022年10月14日(金)</p> <p>【最終合格】 2022年11月11日(金)</p>
そ の 他	詳細は、2022年7月頃に公表する「令和5(2023)年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

3 海洋資源環境学部総合型選抜

(1) 総合型選抜 C-I 型（帰国子女）

実施学部・学科名	海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受け、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者（転勤等により保護者が先に日本に帰国し、その子女のみが単身で在留する場合も出願を認める。）</p> <p>[基礎資格]</p> <p>次の(1)～(6)のいずれかに該当する者で、2023年4月1日現在において、下記(1)～(5)の基礎資格取得後2年以内である者(2021年4月1日から2023年3月31日までに取得していること)</p> <p>(1)外国及び日本の正規の学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者、またはこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの(注)。ただし、12年の課程の最終4か年のうち、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けていること。 (注)上記の「これに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの」とは、次のとおりである。 (昭和56年文部省告示第153号第1号)</p> <p>外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者。外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。</p> <p>(2)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を取得した者</p> <p>(3)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者</p> <p>(4)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者</p> <p>(5)グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者</p> <p>(6)国際的な評価団体(WASC, ACSI, CIS, NEASC)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は修了見込みの者</p> <p>[要件] 次の(7)～(9)を満たす者</p> <p>(7)海洋資源環境学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者(23ページ参照)</p> <p>(8)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(9)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p>
選抜方法等	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類(出願要件としての英語資格検定の資料は除く)の内容を総合して行います。
出願期間	2022年11月1日(火)～11月5日(土)
選抜期日	2022年11月25日(金)
合格発表日	2022年12月9日(金)
その他	詳細は、2022年9月頃に公表する「令和5(2023)年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

(2) 総合型選抜 C-Ⅱ型 (留学経験者)

実施学部・ 学科名	海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	<p>日本国籍を有する者、または日本国の永住許可を得ている者で、次の(1)～(6)の要件をすべて満たす者</p> <p>(1)日本の高等学校在籍中に1年(School Year)以上の海外留学経験を有し、留学先での成績証明書を提出できること。</p> <p>(2)2023年3月に日本の高等学校を卒業見込みであること(ただし、海外留学したことにより、2022年4月1日から2023年3月31日の間に日本の高等学校を卒業した者を含む)。</p> <p>(3)以下に示す外国語検定試験を2019年1月～2022年10月の間に受験し、その有効な公式スコアまたは合格を証明する書類を提出できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語 TOEFL, TOEIC, IELTS, ケンブリッジ英検, 実用英語技能検定 ・ドイツ語 Goethe-Institut のドイツ語検定試験, ドイツ語技能検定試験 ・フランス語 TCF, DELF/DALF, 実用フランス語技能検定試験 ・スペイン語 DELE, スペイン語技能検定試験 ・中国語 HSK, 中国語検定試験 ・韓国語 TOPIK, ハングル能力検定試験 ・その他言語 言語能力を証明する試験 <p>※上記はあくまでも一部の例示であり、外国語検定試験について不明な点がある場合は、東京海洋大学入試課にお問い合わせください。</p> <p>(4)海洋資源環境学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者(23ページ参照)</p> <p>(5)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(6)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p>
選抜方法等	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類の内容を総合して行います。
出願期間	2022年11月1日(火)～11月5日(土)
選抜期日	2022年11月25日(金)
合格発表日	2022年12月9日(金)
その他	詳細は、2022年9月頃に公表する「令和5(2023)年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

(3) 総合型選抜 E (社会人)

実施学部・ 学科名	海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	2023年3月31日までに満23歳に達し、社会人としての経験を5年以上有する者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(6)を満たす者 (1)高等学校または中等教育学校を卒業した者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3)学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (4)海洋資源環境学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者(23ページ参照) (5)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (6)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者
選抜方法等	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類(出願要件としての英語資格検定の資料は除く)の内容を総合して行います。
出願期間	2022年11月1日(火)～11月5日(土)
選抜期日	2022年11月25日(金)
合格発表日	2022年12月9日(金)
その他	詳細は、2022年9月頃に公表する「令和5(2023)年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

IV 学校推薦型選抜

1 海洋生命科学部学校推薦型選抜

(1) 学校推薦型選抜 A (一般)

実施学部・ 学科名	海洋生命科学部 食品生産科学科
募集人員	10名
出願資格等	志望学科への入学の意志が強く、次の各号のすべてに該当する者 (1)2022年4月から2023年3月までに高等学校または中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者 (2)人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者 (3)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (4)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (23ページ参照)
選抜方法等	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2022年11月1日（火）～11月5日（土）
選抜期日	2022年11月25日（金）
合格発表日	2022年12月9日（金）
その他	詳細は、2022年9月頃に公表する「令和5（2023）年度学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

学校推薦型選抜 A（一般）

実施学部・ 学科名	海洋生命科学部 海洋政策文化学科																																										
募集人員	2名																																										
出願資格等	<p>志望学科への入学の意志が強く、次の各号のすべてに該当する者</p> <p>(1)2022年4月から2023年3月までに高等学校または中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>(2)人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(3)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(4)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者（23ページ参照）</p>																																										
選抜方法等	<p>(1)次の項目により多面的、総合的に評価して合格者を決定します。</p> <p>①大学入学共通テストの成績 ②推薦書 ③調査書 ④志望理由書 ⑤資格・業績書</p> <p>(2)大学入学共通テストの取扱い</p> <p>①受験を要する教科・科目</p> <p>〈A パターン〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> </tr> <tr> <td>地理歴史、 公民</td> <td>「世界史 A」, 「世界史 B」, 「日本史 A」, 「日本史 B」, 「地理 A」, 「地理 B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から 1 科目</td> </tr> <tr> <td>数学①</td> <td>「数学 I・数学 A」</td> </tr> <tr> <td>数学②</td> <td>「数学 II・数学 B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から 1 科目</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から 2 科目</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から 1 科目</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈B パターン〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> </tr> <tr> <td>地理歴史、 公民</td> <td>「世界史 A」, 「世界史 B」, 「日本史 A」, 「日本史 B」, 「地理 A」, 「地理 B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から 2 科目</td> </tr> <tr> <td>数学①</td> <td>「数学 I・数学 A」</td> </tr> <tr> <td>数学②</td> <td>「数学 II・数学 B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から 1 科目</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から 2 科目</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から 1 科目</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈C パターン〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> </tr> <tr> <td>地理歴史、 公民</td> <td>「世界史 A」, 「世界史 B」, 「日本史 A」, 「日本史 B」, 「地理 A」, 「地理 B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から 2 科目</td> </tr> <tr> <td>数学①</td> <td>「数学 I・数学 A」</td> </tr> <tr> <td>数学②</td> <td>「数学 II・数学 B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から 1 科目</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から 1 科目</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から 1 科目</td> </tr> </tbody> </table>	教科	科目	国語	「国語」	地理歴史、 公民	「世界史 A」, 「世界史 B」, 「日本史 A」, 「日本史 B」, 「地理 A」, 「地理 B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から 1 科目	数学①	「数学 I・数学 A」	数学②	「数学 II・数学 B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から 1 科目	理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から 2 科目	外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から 1 科目	教科	科目	国語	「国語」	地理歴史、 公民	「世界史 A」, 「世界史 B」, 「日本史 A」, 「日本史 B」, 「地理 A」, 「地理 B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から 2 科目	数学①	「数学 I・数学 A」	数学②	「数学 II・数学 B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から 1 科目	理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から 2 科目	外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から 1 科目	教科	科目	国語	「国語」	地理歴史、 公民	「世界史 A」, 「世界史 B」, 「日本史 A」, 「日本史 B」, 「地理 A」, 「地理 B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から 2 科目	数学①	「数学 I・数学 A」	数学②	「数学 II・数学 B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から 1 科目	理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から 1 科目	外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から 1 科目
教科	科目																																										
国語	「国語」																																										
地理歴史、 公民	「世界史 A」, 「世界史 B」, 「日本史 A」, 「日本史 B」, 「地理 A」, 「地理 B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から 1 科目																																										
数学①	「数学 I・数学 A」																																										
数学②	「数学 II・数学 B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から 1 科目																																										
理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から 2 科目																																										
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から 1 科目																																										
教科	科目																																										
国語	「国語」																																										
地理歴史、 公民	「世界史 A」, 「世界史 B」, 「日本史 A」, 「日本史 B」, 「地理 A」, 「地理 B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から 2 科目																																										
数学①	「数学 I・数学 A」																																										
数学②	「数学 II・数学 B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から 1 科目																																										
理科	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から 2 科目																																										
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から 1 科目																																										
教科	科目																																										
国語	「国語」																																										
地理歴史、 公民	「世界史 A」, 「世界史 B」, 「日本史 A」, 「日本史 B」, 「地理 A」, 「地理 B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から 2 科目																																										
数学①	「数学 I・数学 A」																																										
数学②	「数学 II・数学 B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から 1 科目																																										
理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から 1 科目																																										
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から 1 科目																																										

- ※1 指定された教科・科目を一つでも受験していない場合は、出願することはできない。
- ※2 指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第1解答科目の成績を用いる。
- ※3 公民から2科目を選択することはできない(地歴において、同一名称を含む2科目の組合せは選択できない)。

②配点・基準点

教科	国語	地理歴史, 公民	数学	理科	外国語	合計	基準点
Aパターン	100	50	100	100	250	600	420
B, Cパターン	100	100	100	50	250	600	420

- ※1 外国語は250点満点とし、英語を選択した場合は、リーディングを200点、リスニングを50点とする。リスニング免除者は、リーディングのみの得点で250点満点とする。
- ※2 大学入学共通テストの得点は科目ごとに偏差値に換算する。
- ※3 基準点については、素点を配点に従い600点満点に換算したものをを用いる。

③基準点の取扱い

本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目の得点合計が基準点に満たない場合は、合格対象者とはならない。

出願期間	2023年1月23日(月)～2月3日(金)
合格発表日	2023年2月14日(火)
その他	詳細は、2022年9月頃に公表する「令和5(2023)年度学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

(2) 学校推薦型選抜 B (専門学科・総合学科卒業生)

実施学部・ 学科名	海洋生命科学部 海洋生物資源学科
募集人員	一般若干名 水産教員養成課程若干名 (10 ページ参照)
出願資格等	<p>次の各号のすべてに該当する者</p> <p>(1)高等学校または中等教育学校において、水産に関する学科を卒業した者及び 2023 年 3 月までに卒業見込みの者、あるいは水産・海洋系の科目(注)を 25 単位以上修得し卒業した者及び 2023 年 3 月までに修得・卒業見込みの者</p> <p>(注) 水産・海洋系の科目とは、学習指導要領で示される教科「水産」に属する科目及び学校設定科目において水産・海洋の内容に関わる科目を指す。なお、学校設定科目を上記の 25 単位に含める場合には、出身学校において、調査書の備考欄に、その修得した科目が水産・海洋系に関わる内容であることを示すこと。</p> <p>(2)人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(3)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(4)高等学校または中等教育学校で、次の各号のいずれかを履修した(している)者</p> <p>①物理系※、化学系※または生物系※のうち、複数の系にまたがり合計 2 科目以上を履修した(している)者</p> <p>②物理系※、化学系※または生物系※のうち、いずれか 1 科目、及び「科学と人間生活」の計 2 科目以上を履修した(している)者</p> <p>③物理系※、化学系※または生物系※のうち、いずれか 1 科目及び(旧学習指導要領による)理科総合 A または理科総合 B のうち、いずれか 1 科目の計 2 科目以上を履修した者</p> <p>※物理系、化学系、生物系とは、例えば、物理系においては、(現行学習指導要領による)物理基礎、物理、(旧学習指導要領による)物理 I、物理 II 等、科目名に物理の名称がつく科目のことをいう。化学系、生物系についても同様。</p> <p>(5)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (23 ページ参照)</p>
選抜方法等	<p>【第 1 次選抜】 次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、上位若干名を合格者とします。</p> <p>(1)小論文 (2)口頭試問 (3)調査書 (4)志望理由書</p> <p>【第 2 次選抜】 第 1 次選抜の合格者に対して、次の項目により多面的、総合的に評価して学校推薦型選抜合格者を決定します。</p> <p>(1)第 1 次選抜の成績 (2)模擬講義を聴講し作成した聴講論文 (3)個人面接</p>
出願期間	2022 年 11 月 1 日 (火) ~ 11 月 5 日 (土)
選抜期日	<p>【第 1 次選抜】 2022 年 11 月 25 日 (金)</p> <p>【第 2 次選抜】 2022 年 12 月 20 日 (火)</p>
合格発表日	<p>【第 1 次選抜】 2022 年 12 月 9 日 (金)</p> <p>【最終合格】 2023 年 1 月 17 日 (火)</p>
その他	詳細は、2022 年 9 月頃に公表する「令和 5 (2023) 年度学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

学校推薦型選抜 B（専門学科・総合学科卒業生）

実施学部・ 学科名	海洋生命科学部 食品生産科学科
募集人員	2名（一般1名 水産教員養成課程1名 10ページ参照）
出願資格等	<p>次の各号のすべてに該当する者</p> <p>(1)高等学校または中等教育学校において、水産に関する学科を卒業した者及び2023年3月までに卒業見込みの者、あるいは水産・海洋系の科目（注）を25単位以上修得し卒業した者及び2023年3月までに修得・卒業見込みの者</p> <p>（注）水産・海洋系の科目とは、学習指導要領で示される教科「水産」に属する科目及び学校設定科目において水産・海洋の内容に関わる科目を指す。なお、学校設定科目を、上記の25単位に含める場合には、出身学校において、調査書の備考欄に、その修得した科目が水産・海洋系に関わる内容であることを示すこと。</p> <p>(2)人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(3)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(4)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者（23ページ参照）</p>
選抜方法等	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2022年11月1日（火）～11月5日（土）
選抜期日	2022年11月25日（金）
合格発表日	2022年12月9日（金）
その他	詳細は、2022年9月頃に公表する「令和5（2023）年度学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

2 海洋資源環境学部学校推薦型選抜

(1) 学校推薦型選抜 A (一般)

実施学部・ 学科名	海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科
募集人員	海洋環境科学科 11 名 海洋資源エネルギー学科 5 名
出願資格等	志望学科への入学の意志が強く、次の各号のすべてに該当する者 (1)2022 年 4 月から 2023 年 3 月までに高等学校または中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者 (2)人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者 (3)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (4)海洋資源環境学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (23 ページ参照)
選抜方法等	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2022 年 11 月 1 日（火）～11 月 5 日（土）
選抜期日	2022 年 11 月 25 日（金）
合格発表日	2022 年 12 月 9 日（金）
その他	詳細は、2022 年 9 月頃に公表する「令和 5（2023）年度学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

(2) 学校推薦型選抜 B (専門学科・総合学科卒業生)

実施学部・ 学科名	海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	<p>次の各号のすべてに該当する者</p> <p>(1)高等学校または中等教育学校において、水産に関する学科を卒業した者及び 2023 年 3 月までに卒業見込みの者、あるいは水産・海洋系の科目(注)を 25 単位以上修得し卒業した者及び 2023 年 3 月までに修得・卒業見込みの者</p> <p>(注) 水産・海洋系の科目とは、学習指導要領で示される教科「水産」に属する科目及び学校設定科目において水産・海洋の内容に関わる科目を指す。なお、学校設定科目を、上記の 25 単位に含める場合には、出身学校において、調査書の備考欄に、その修得した科目が水産・海洋系に関わる内容であることを示すこと。</p> <p>(2)人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(3)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(4)海洋資源環境学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者(23 ページ参照)</p>
選抜方法等	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類(出願要件としての英語資格検定の資料は除く)の内容を総合して行います。
出願期間	2022 年 11 月 1 日(火)～11 月 5 日(土)
選抜期日	2022 年 11 月 25 日(金)
合格発表日	2022 年 12 月 9 日(金)
その他	詳細は、2022 年 9 月頃に公表する「令和 5 (2023) 年度学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

V 私費外国人留学生特別入試

1 海洋生命科学部

実施学部・ 学科名	海洋生命科学部 各学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	<p>【日本留学試験】 独立行政法人日本学生支援機構が年2回（6月・11月）実施する2022年度日本留学試験で本学が指定した教科・科目を受験した者 海洋生命科学部へ出願する者は、日本語，理科（2科目選択），数学（コース2）を受験してください。ただし，出題言語は日本語で受験してください。なお，日本留学試験は，2022年度に実施される年2回のうちどちらを受験してもかまいません。</p> <p>【外部英語資格試験】 海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者（23ページ参照）</p> <p>その他の出願資格については，令和5（2023）年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項，並びに本学ホームページ等で確認してください。</p>
選抜方法等	入学者の選抜は，大学入学共通テストを免除し，個別学力検査・面接・日本留学試験の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2023年1月23日（月）～2月3日（金）
選抜期日	2023年2月25日（土）
合格発表日	2023年3月7日（火）
その他	詳細は，2022年12月頃に公表する「令和5（2023）年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項」を参照してください。

2 海洋工学部

実施学部・ 学科名	海洋工学部 各学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	<p>【日本留学試験】 独立行政法人日本学生支援機構が年2回（6月・11月）実施する2022年度日本留学試験で本学が指定した教科・科目を受験した者 海洋工学部へ出願する者は、日本語、理科（物理・化学）、数学（コース2）を受験してください。ただし、出題言語は日本語で受験してください。なお、日本留学試験は、2022年度に実施される年2回のうちどちらを受験してもかまいません。</p> <p>【英語資格・検定試験等】 海洋工学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者（24ページ参照）</p> <p>その他の出願資格については、2023年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項、並びに本学ホームページ等で確認してください。</p>
選抜方法等	入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、個別学力検査・面接・日本留学試験の成績及び提出書類の内容を総合して行います。
出願期間	2023年1月23日（月）～2月3日（金）
選抜期日	2023年2月25日（土）
合格発表日	2023年3月7日（火）
その他	詳細は、2022年12月頃に公表する「令和5（2023）年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項」を参照してください。

3 海洋資源環境学部

実施学部・ 学科名	海洋資源環境学部 各学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	<p>【日本留学試験】 独立行政法人日本学生支援機構が年2回（6月・11月）実施する2022年度日本留学試験で本学が指定した教科・科目を受験した者 海洋資源環境学部へ出願する者は、日本語、理科（2科目選択）、数学（コース2）を受験してください。ただし、出題言語は日本語で受験してください。なお、日本留学試験は、2022年度に実施される年2回のうちどちらを受験してもかまいません。</p> <p>【外部英語資格試験】 海洋資源環境学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者（23ページ参照）</p> <p>その他の出願資格については、令和5（2023）年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項、並びに本学ホームページ等で確認してください。</p>
選抜方法等	入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、個別学力検査・面接・日本留学試験の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2023年1月23日（月）～2月3日（金）
選抜期日	2023年2月25日（土）
合格発表日	2023年3月7日（火）
その他	詳細は、2022年12月頃に公表する「令和5（2023）年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項」を参照してください。

VI 学生募集要項の発表・大学案内等の請求方法

1 学生募集要項の発表

「令和 5 (2023) 年度総合型選抜学生募集要項」を 8~9 月頃に、「令和 5 (2023) 年度学校推薦型選抜学生募集要項」を 9 月頃に、「令和 5 (2023) 年度一般選抜学生募集要項」及び「令和 5 (2023) 年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項」を 12 月頃に Web 上で発表予定です。印刷物での配付はありません。大学案内、入学者選抜要項は以下から請求できます。

2 大学案内等の請求方法

(1) テレメールによる請求

インターネット（携帯電話・スマートフォン・パソコン等）での請求ができます。

 テレメール	インターネット（携帯電話・スマートフォン・パソコン）の場合
	https://telemail.jp/ 携帯電話，スマートフォン，パソコンとも共通アドレスです。
	QR コード ※対応するスマートフォン， 携帯電話で読み取れます



資料名	資料請求番号	料金	発送開始時期
大学案内	569302	215 円	7 月
入学者選抜要項	569312	215 円	8 月
入学者選抜要項・大学案内	569322	250 円	8 月

【テレメール問い合わせ先】

テレメールカスタマーセンター：TEL 050-8601-0102（9:30~18:00）まで

(2) DJC『モバっちょ』による請求

下記 URL または QR コードから請求できます。



<http://djc-mb.jp/kaiyodai3/>



【モバっちょ問い合わせ先】

モバっちょカスタマーセンター：TEL 050-3540-5005（10:00~18:00 平日）まで

Ⅶ 健康診断について

1 船舶実習の履修，コース選択について

海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科は授業科目に船舶実習の必修科目があり，次の健康診断基準を満たしていない場合，必修科目「船舶実習Ⅰ」，「船舶実習Ⅱ（海洋電子機械工学科機関システム工学コース）」の履修に制約や，海洋電子機械工学科では3年次コース選択に制約が生じることがあります。

2 乗船実習科への進学について

海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科（機関システム工学コース）卒業後，海技免許の取得を希望する者は，乗船実習科（6か月の課程）を修了する必要があります。乗船実習科へ進学を希望する者は，出願前に専門医を受診し，色覚に関する検査を含め，次の健康診断基準を満たしていることを確認しておいてください。

【健康診断基準】

項目	海事システム工学科（航海士）	海洋電子機械工学科（機関士）
視力	視力（矯正視力を含む）が両眼共に0.5以上であること。	視力（矯正視力を含む）が両眼で0.4以上であること。
色覚	船舶職員としての職務に支障をきたすおそれのある色覚の異常がないこと。 基準：以下の色覚検査に合格すること。 石原色覚検査表（国際版38表）及びパネルD-15を使用し，少なくともパネルD-15を用いた検査に合格すること。	基準：以下の色覚検査に合格すること。 石原色覚検査表（国際版38表）及びパネルD-15を使用し，少なくともパネルD-15を用いた検査に合格するか，いずれも不合格の場合には，船員法指定医療機関（国土交通省海事局・各地方運輸局にお問合せください。）における特定船員色識別適性確認表を用いた検査に合格すること。
聴力	5メートル以上の距離で話声語を弁別できること。	
握力	男子の握力は，左右共に25キログラム以上，女子の握力は左右共に17キログラム以上であること。	
疾病及び身体機能の障害の有無	心臓疾患，視覚機能の障害，精神の機能の障害，言語機能の障害，運動機能の障害，その他の疾病又は身体機能の障害により船舶職員としての職務に支障をきたさないと認められること。 (海技免許の取得・更新のためには，上記の障害により「船舶職員としての職務に支障をきたさないと認められること」が求められます。)	

(注)・この健康診断基準は，「船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則」別表第三に規定された海技士身体検査基準表及び「船員法施行規則」第二号表に従っています（※法改正に伴い変更の可能性あります）。

・※参考 船員法施行規則第二号表

健康検査合格標準表（国土交通省ウェブサイト，<https://www.mlit.go.jp/common/001138797.pdf>）

・※海技免許取得要件及び健康検査合格標準表の最新の情報は，国土交通省海事局・各地方運輸局へお問い合わせください。

・疾病等で不明な点については，出願までに学務部入試課入試第一係へ問い合わせてください。

3 海洋科学専攻科への進学について

海洋生命科学部・海洋資源環境学部に入學し卒業後に、船舶職員となることを志望し、海洋科学専攻科（船舶の運航に関して学ぶ1年の課程）に進學し、国家資格である海技免許を取得するには次の〔身体検査基準〕を満たす必要があります。ただし、海洋科学専攻科進学に際しての身体検査基準はありません。

〔身体検査基準〕

検査項目	身体検査基準
視力 (5メートルの距離で万国視力表による)	視力(矯正視力を含む)が両眼共に0.5以上であること
色覚	船舶職員としての職務に支障をきたすおそれのある色覚の異常がないこと
聴力	5メートル以上の距離で話声語を弁別できること
疾病及び身体機能の障害の有無	心臓疾患, 視覚機能の障害, 精神の機能の障害, 言語機能の障害, 運動機能の障害, その他の疾病または身体機能の障害により船舶職員としての職務に支障をきたさないと認められること

(船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則別表第3準拠)

VIII 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち事前に相談を行ってください。

1 相談の時期

入学者選抜の種類	相談の期限
総合型選抜(海洋生命科学部海洋政策文化学科) 総合型選抜(海洋工学部)	2022年8月24日(水)まで
総合型選抜(海洋生命科学部海洋生物資源学科, 食品生産科学科) 総合型選抜(海洋資源環境学部) 学校推薦型選抜(海洋生命科学部海洋生物資源学科, 食品生産科学科) 学校推薦型選抜(海洋資源環境学部)	2022年9月30日(金)まで
一般選抜(全学部) 私費外国人留学生特別入試(全学部) 学校推薦型選抜(海洋生命科学部海洋政策文化学科)	2022年12月23日(金)まで

2 相談の方法

本学ホームページ掲載の入学試験受験特別措置申請書に医師の診断書等必要書類を添付して提出してください。必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁できる出身学校関係者等との面談等を行います。

3 提出先

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学入試課

IX 東京海洋大学のキャンパス案内

東京海洋大学のキャンパスは、品川キャンパスと越中島キャンパスの2か所です。なお、海洋生命科学部及び海洋資源環境学部は品川キャンパス、海洋工学部は越中島キャンパスで、主たる教育研究を行います

X 学生寮のお知らせ（令和5年度学部1年次入学者）

学生寮の概要等

東京海洋大学には2つの学生寮があります。

名称	朋鷹寮（品川キャンパス）	海王寮（越中島キャンパス）
住所	東京都港区港南 4-5-7	東京都江東区越中島 2-2-8
部屋の形状	男子 北寮 12.25 m ² （個室） 女子 南寮 12.25 m ² （個室）	男子 1～3寮 約 12.5 m ² /1人（準個室） 女子 4寮 約 12.5 m ² /1人（準個室） ※1室を2部屋に区切り2人で使用 ※エレベーターはありません。
経費 （※2022年4月現在。変更になる可能性があります）	寄宿料 56,400円/年 光熱水費等 48,000円/年 共益費 38,400円/年 入寮費 30,000円/入寮時のみ 学生寮運営のための諸経費 24,000円/年 +500円/入寮時のみ	寄宿料 36,000円/年 光熱水費等 54,000円/年 共益費 38,400円/年 入寮費 30,000円/入寮時のみ 学生寮運営のための諸経費 33,600円/年 +7,000円/入寮時のみ
募集人数	男子約25名 女子約15名	男子約40名 女子約10名
	※外国人留学生は、【外国人留学生対象の入居者募集について】を確認してください。	
選考方法	応募者多数の場合は、以下の選考方法により選考します。 ・片道の通学時間が2時間以上で、本学所定の選考基準により算出した家計評価の困窮度の高い順から選考 ・応募者が定員を満たさなかった場合、2時間未満の片道の通学時間を30分単位で分けし、家計評価の困窮度の高い順から選考	

【学生寮入寮の応募方法について】

募集人数・募集時期・選考方法及び必要経費等については現在検討しており、それらについて記載した入寮募集要項は、本学ホームページからダウンロードできる予定です。

東京海洋大学ホームページ → 大学で学びたい方 or 入試 → 学生寮に入寮を希望する方へ

入寮募集要項の大学ホームページ公開時期については、2022年4月掲載の2023年度学生寮募集日程を確認してください。（学生寮に入寮を希望する方へ → 募集日程）

【外国人留学生対象の入居者募集について】

外国人留学生対象の宿舎については、空室がある場合に本学ホームページで入居者募集を行っています。

（和文）TOP ページ (<https://www.kaiyodai.ac.jp/>) → 教育・国際交流 → 在学する留学生向け情報

（または、URL：https://www.kaiyodai.ac.jp/student/foreignstudents/201710off_campus_dormitory_for_rent_for_international_students.html）

（英文）TOP ページ (<https://www.kaiyodai.ac.jp/english/>) → Education, International → Information for International Students at University

（または、URL：https://www.kaiyodai.ac.jp/english/student/foreignstudents/201710off_campus_dormitory_for_rent_for_international_students.html）

出願の流れ

出願登録はインターネットで行います。出願登録から受験票の印刷までの流れは、以下の通りです。



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類は、必ず募集要項で確認してください



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/kaiyo-u/>
または、
大学ホームページ ▶ <https://www.kaiyodai.ac.jp/>
からアクセス



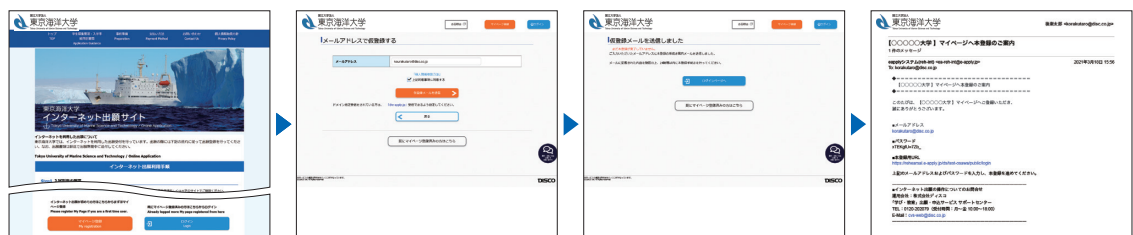
STEP

3

マイページの登録

出願登録には事前にマイページの作成が必要となります。マイページ登録後、出願期間になったら専用サイト及び画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



- ① 初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。
- ② メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。
- ③ ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。
- ④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



- ⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。
- ⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。
- ⑦ 表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。
- ⑧ 個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをおしてください。

STEP

4

出願内容の登録

マイページ登録が完了された方は、出願サイトTOPページのログインからマイページに登録したメールアドレス及び設定したパスワードを入力し画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥出願内容の確認
入学志願票(サンプル) ボタンの
クリック後、入学志願票を確認し、「この
内容で登録する」へ。

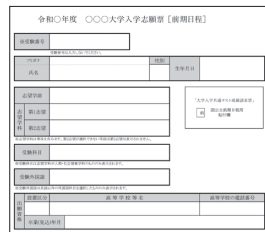


⑦出願申込完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
また、支払手続き案内メールが送付され
ます。



[STEP5]
入学検定料の支払い方法

- コンビニエンスストア
- ペイジー対応銀行ATM
- ネットバンキング ●クレジットカード



[STEP6]
出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に印刷できます。

出願申込完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。もし、申込後に修正が必要な場合は、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することができます。

メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。※送信メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。クレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願内容の登録と同時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

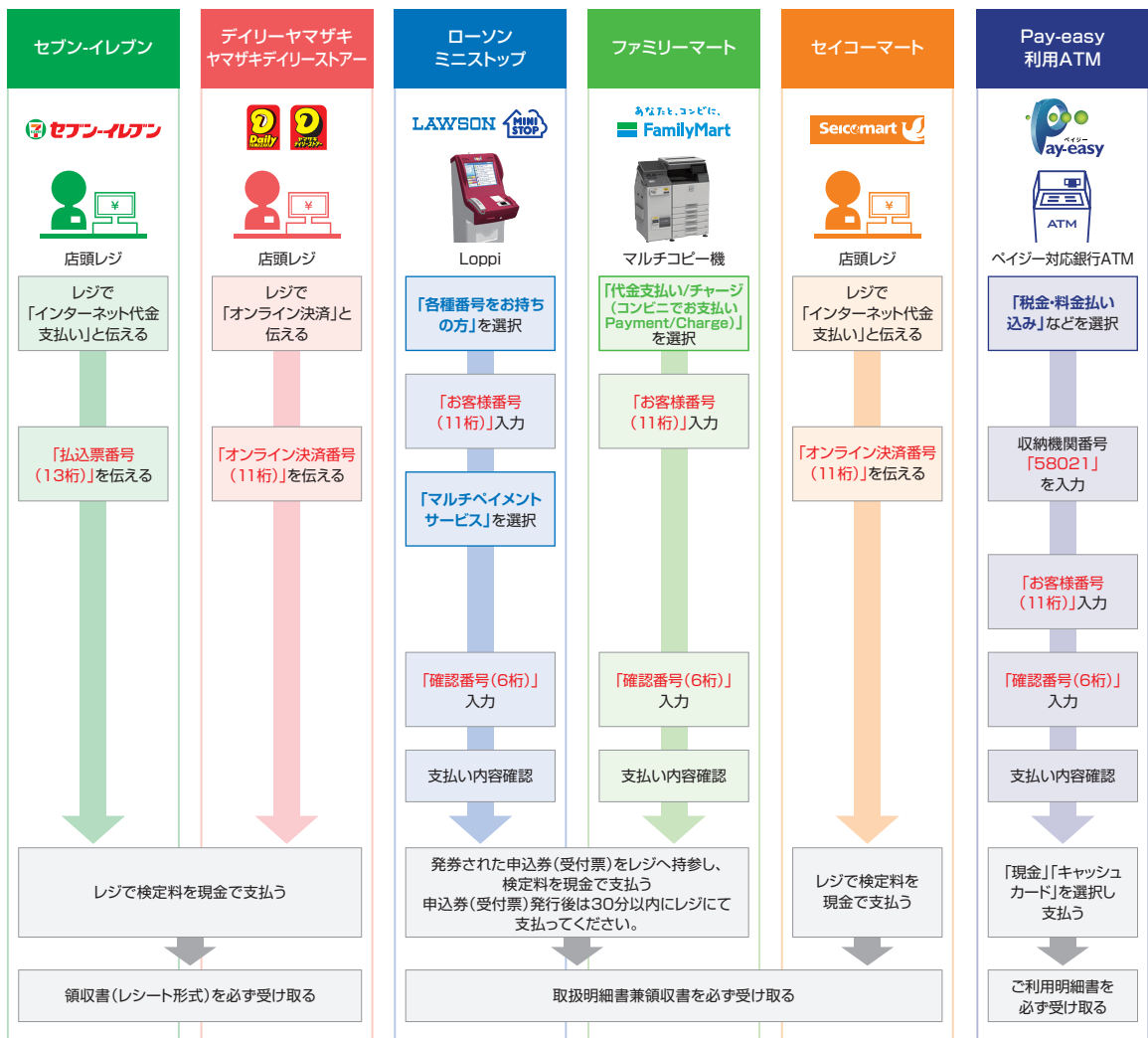
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



4 銀行ATM

STEP

6



必要書類の郵送

***登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。**

必要書類を出願期間内に郵便局窓口から「書留速達」で郵送してください。



送付先

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
東京海洋大学 入試課 行

「入学志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された **入学志願票** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **入学志願票** のボタンをクリックできるようになり入学志願票の印刷ができます。

※一度受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の 注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了(各選抜の出願締切日必着)となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、インターネット出願登録、検定料の支払い、出願に必要な書類の提出期間は学生募集要項に記載の通りです。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

出願期間後に、インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。受験票が印刷可能になったら、メールで通知が届きます。

インターネット出願システムのログインボタンからログインして、必ず各自で受験票を印刷し、試験当日に持参してください。

※パソコン等の画面上的受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が一致していることを必ず確認してください。



入学者選抜要項に関する問い合わせ先
〒108-8477
東京都港区港南 4-5-7
東京海洋大学入試課入試第一係
TEL 03-5463-0510
E-mail n-nyusi1@o.kaiyodai.ac.jp